

さいたま市におけるスマートシティの取組について

スマート・ターミナル・シティさいたま

さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム

2022/09/20

さいたま市の概要



- 東京都心から20～40km・埼玉県南東部に位置
- 政令指定都市・県庁所在地
- 新幹線6路線が集まる交通結節点

- 2001年5月 さいたま市誕生
埼玉県内で初の100万人都市
- 2003年4月 政令指定都市移行（全国で13番目）
- 2005年4月 岩槻市と合併

人口・世帯数(2022/09/01現在)

人 口：1,338,783人(前月比増減 246人)

男 性：664,120人

女 性：674,663人

世 帯 数：630,250世帯(前月比増減 229世帯)

年齢別の内訳

14歳以下

172,424人

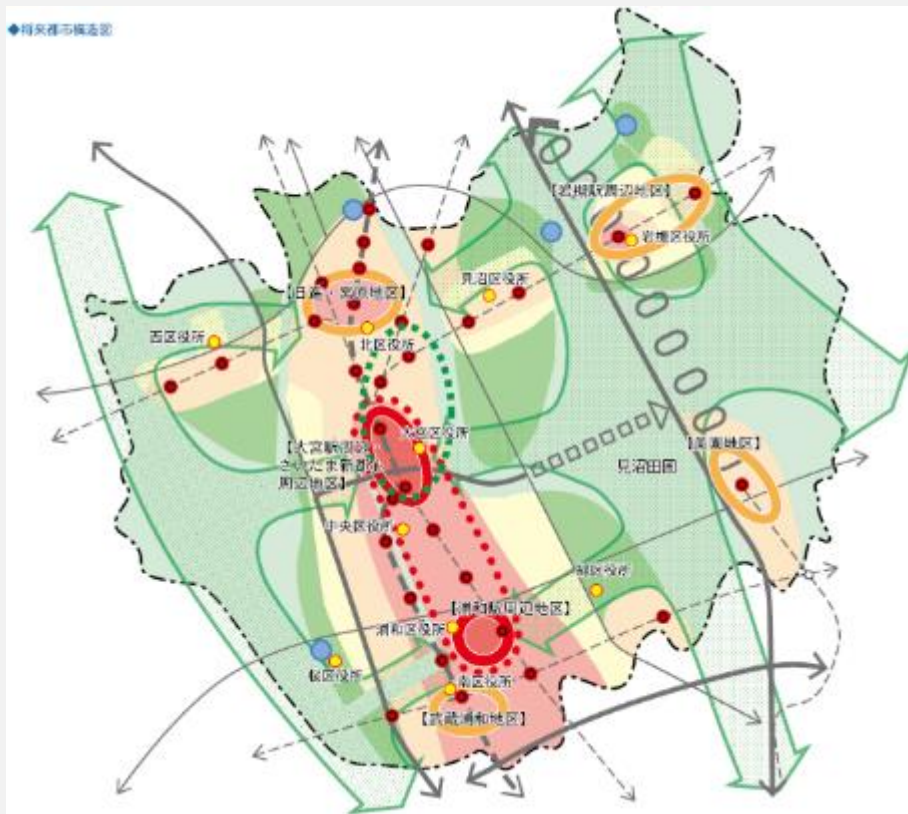
15～64歳

856,283人

65歳以上

310,076人

さいたま市の将来都市構造



■ 2 都心

- ・ 高度で広域的な都市機能が集積し、多様な都市活動や市民の拠点となる地区

- ①大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区
- ②浦和駅周辺地区

■ 4 副都心

- ・ 都心を補完し、多様な都市活動を支える都市機能を備える地区

- ①日進・宮原地区
- ②武蔵浦和駅地区
- ③美園地区
- ④岩槻駅周辺地区

さいたま市の伝統産業

大宮の盆栽



さいたま市大宮盆栽美術館 (H22. 3. 28開館)

岩槻の人形



さいたま市岩槻人形博物館 (R2. 2. 22開館)

浦和のうなぎ



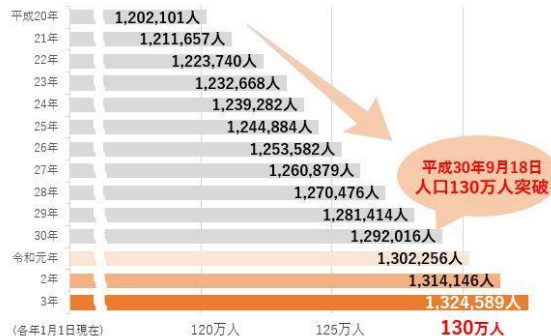
浦和うなぎまつり (毎年5月下旬開催)

さいたま市のスポーツ



データから見るさいたま市

● 増え続ける人口 毎年約1万人増



● さいたま市は住みやすい 85.6%



● さいたま市のイメージ

順位	イメージ	割合
1位	買い物など生活に便利なまち	54.4%
2位	居住・生活環境のよいまち	52.6%
3位	交通の利便性が高いまち	48.1%
4位	関東の主要都市	37.7%
5位	災害に強く、治安のよいまち	30.3%

● 幸福度ランキング 政令指定都市中 第1位



● 住みたい街ランキング 2022 首都圏版

順位	駅名	順位	駅名
1位	横浜	6位	目黒
2位	吉祥寺	7位	新宿
3位	大宮	8位	品川
4位	恵比寿	9位	池袋
5位	浦和	10位	鎌倉

● 交通アクセスがよい街



日本経済新聞

「脱炭素先行地域」に26自治体 環境省、横浜など第1弾

2022/4/26 14:13 | 日本経済新聞 電子版

環境省は26日、2030年度までに家庭やオフィスビルなどの消費電力を再生可能エネルギーで100%まかなうことをめざす「脱炭素先行地域」の初の選定結果を公表した。横浜市や新潟県佐渡市など26自治体を選んだ。1自治体あたり5年間で最大50億円を交付し、省エネや再生エネ導入を支援する。25年度までに少なくとも100カ所を選び、集中的に脱炭素を進める。

脱炭素先行地域に選ばれた 提案を出した自治体

北海道石狩市	堺市
北海道上士幌町	兵庫県姫路市
北海道鹿追町	兵庫県尼崎市
宮城県東松島市	兵庫県淡路市
秋田県	鳥取県米子市
秋田県大湯村	島根県邑南町
さいたま市	岡山県真庭市
横浜市	岡山県西粟倉村
川崎市	高知県橋原町
新潟県佐渡市	北九州市
長野県松本市	熊本県球磨村
静岡市	鹿児島県知名町
名古屋市	
滋賀県米原市	※共同提案自治体は 含まず

シェアモビリティ関連事業【さいたま市】

- ①シェアEVスクーターサービスの展開
 - ・ EVスクーター導入
 - ・ **バッテリーステーションの開発・導入**
 - ・ バッテリーマネジメントシステムの開発・運用
- ②シェアEVサービスの展開
- ③再生可能エネルギーの活用
- ④CO2削減量の可視化



バッテリー交換式
シェアEVスクーター



バッテリーステーション



シェアEVスクーターの
バッテリー交換



シェアモビリティ
ステーション

国土交通省スマートシティ 先行モデルプロジェクト

■ **事業のセールスポイント** 埼玉県さいたま市における〈市民のウェルビーイングな暮らしを実現する「スマートシティさいたま」〉の構築に向けた2事業を提案する。本市でスマートシティ施策を先行展開するモデル地区では、産官学民の連携拠点：アーバンデザインセンターが設置され、また行政・地域事業者・地元団体等の参画するまちづくり推進組織が体制化されるとともに、都市OS「共通プラットフォームさいたま版」にてデータを流通できる基盤が整備されている。本年度の提案事業はこれらの基盤を基に、**利便性向上・まちの賑わいを生成するマルチモダル・インターモダルな移動環境・交通サービス体系づくりを軸に、3D都市モデルや各種サービスデータの統合・分析による施策効果の可視化等を通じて、多様なプレイヤーを巻き込んだ産官学民連携によるサービス普及や都市空間・環境整備に向けた合意形成等を推進している先進的な好事例として示すことが可能である。**

■ 位置図



■ 対象区域の概要

- 名称：さいたま市
- 面積：約217.4km²
- 人口：約134万人

■ 対象区域のビジョン

○ 上質な生活都市

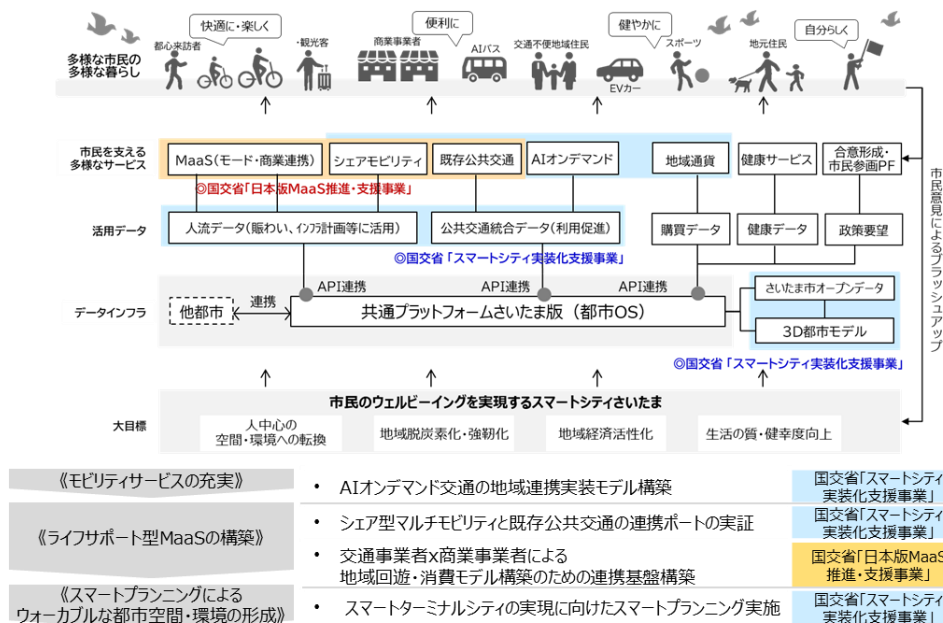
全ての人があいあわせを実感し、自らが暮らすまちに誇りを感じることができる都市

○ 東日本の中核都市

市民や企業から選ばれ、訪れる人を惹きつける魅力にあふれる都市

■ 関連事業全体の概要

新型コロナ危機を契機に、よりスマートでレジリエントな都市・社会への転換や、身近な生活環境、健康な暮らし方への関心が一層高まっている。こうした社会情勢も踏まえ本事業では、IoT技術、3D都市モデル等のスマート化技術を活用し、〈市民のウェルビーイングな暮らしを実現する「スマートシティさいたま」〉の推進のため、市民を支える多様なサービスの高度化とともに、パーソナルデータや都市データ等を利用してエビデンスに基づいた効率的なまちの管理・運用を促す事業を実施する。



■ 地域の課題

さいたま市の抱える地域課題のうち、スマートシティ実現に向けて重点・継続的に取り組む分野を「都市インフラ」、「環境・エネルギー」、「経済」、「健康」と抽出設定し、分野別課題を下表に整理する。また、その解決に向け、スマートシティ施策を推進していく上での課題を合わせて示す。

※本提案で取り組む課題は太字

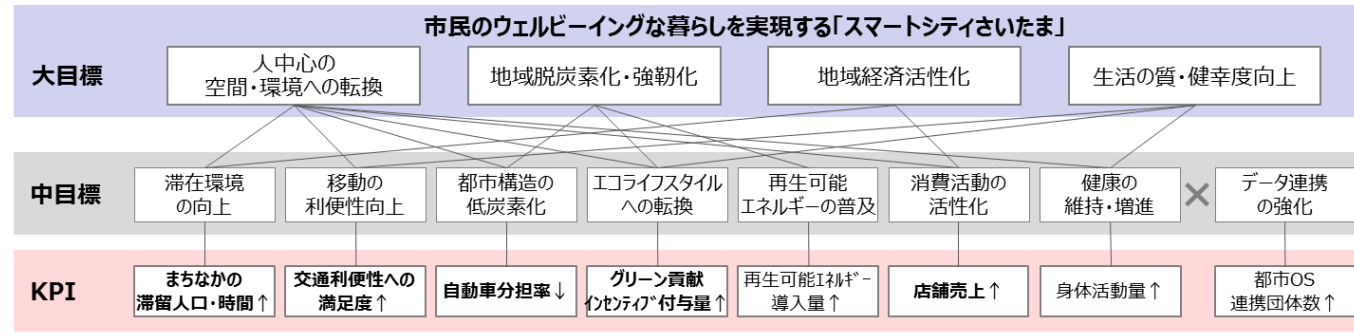
スマートシティで取り組むべき都市課題	
都市インフラ	環境・エネルギー
●幹線道路等における慢性的な交通渋滞の解消 ●公共交通の利便性向上 ●自家用車依存から徒歩・自転車・公共交通への行動変容促進 ●ウォーカブルなまちづくりの推進	●温室効果ガス排出量削減と持続可能なエネルギーの確保 ・災害時のエネルギーセキュリティの確保 ・資源循環の高度化
経済	健康
●地域経済の再生・活性化 ・デジタル化によるトータルコスト削減・地域産業/行政の生産性向上 ・市が注力する各種スポーツの活用による地域活性化	・健康寿命の延伸 ●高齢者等の外出機会創出 ・ライフスタイルの変化に応じた健康維持・増進 ・スポーツ等の活用による健康づくりの推進（行動変容）
スマートシティ推進上の課題	
・データ活用を円滑にするための、分野間・都市間連携の促進（都市OS構築） ・都市OSにおける継続的なセキュリティ対策	

■ スマートシティの目標(KPI)

さいたま市の地域ビジョン及び上述した地域課題を踏まえ、〈市民のウェルビーイングな暮らしを実現する「スマートシティさいたま」〉をコンセプトに、大目標として「人中心の空間・環境への転換」、「地域脱炭素化・強靱化」、「地域経済活性化」、「生活の質・健康度向上」を掲げる。

また、大目標にぶら下がる7の中目標とデータ連携に係る中目標を整理し、それぞれのKPIを次のとおり設定している。

※本提案に関連するKPIは太字



■ 運営体制

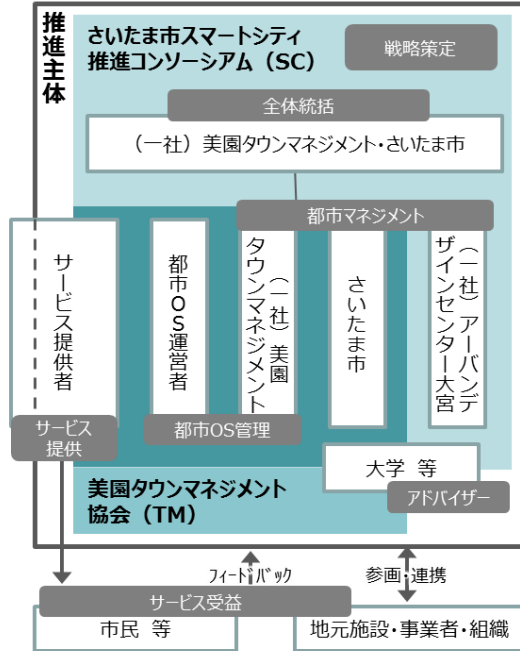
プレイヤー

役割

【本提案に係る役割及び責任】

国交総：日本版MaaS推進・支援事業
国交都：スマートシティ実装化支援事業

- さいたま市では、2015年に産官学連携で「**美国タウンマネジメント協会**」が組織され、**美国地区をフィールドとしてスマートシティ施策を推進**してきた。
- 特定エリアでの取組から**エリア・分野の拡張のフェーズへ移行**するにあたり、国土交通省スマートシティモデル事業も契機に「**さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム**」が組織され、**美国地区に加え、大宮・さいたま新都心地区へもスマートシティ施策が展開**されている。
- 両組織が**推進主体**として市のスマートシティ施策を統括・マネジメントし、各種プレイヤーの参画・連携を促進しながら、スマートシティ戦略で掲げる目標達成を目指す。



団体名	提案への参画 ◎:代表 ●:関係者		協議会への参画		役割及び責任
	国交総	国交都	SC	TM	
1 さいたま市	●	●	●	●	全体統括 監視・チェック
2 (一社)美国タウンマネジメント		◎	●	●	事業代表者 監視・チェック
3 フェリカポケットマーケティング(株)		●		●	システム提供・運営
4 OpenStreet(株)	◎	●	●		国交総統括 モビリティ事業運営
5 東日本旅客鉄道(株)	●				モビリティ事業運営
6 国際興業(株)	●				バスデータ提供
7 西武バス(株)	●				バスデータ提供 ・商業連携協力
8 東武バス(株)	●				バスデータ提供
9 (株)日建設計総合研究所		●	●		全体統括補助 ・データ分析
10 (一社)アーバンデザインセンター大宮		●	●		アドバイザー
11 KPMGコンサルティング(株)		●	●		実証実験補助 ・データ分析
12 MONET Technologies(株)		●	●		システム提供・運営
13 (株)つばめタクシー		●	●		AIワンデマンド車両運行
14 (株)パスコ		●	●		データ作成補助
15 日本電気(株)		●			機器提供
16 PaylessGate(株)		●			システム提供・運営

さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム（2020年1月設立）

さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム

【会長】（一社）美園タウンマネジメント
【監事】（一社）アーバンデザインセンター大宮
【事務局】さいたま市

大宮プロジェクトチーム

（株）日建設計総合研究所
ENEOSホールディングス（株）
（株）JTB
OpenStreet（株）
Sinagy Revo（株）
ヤフー（株）
埼玉大学
ソフトバンク（株）
（株）パスコ

美園プロジェクトチーム

（一財）計量計画研究所
（株）NTTドコモ
KPMGコンサルティング（株）
MONET Technologies（株）
（株）つばめタクシー

※加入順（2022年6月30日時点）

令和4年度 スマートシティ実装化支援事業 支援地区

令和4年7月13日
スマートシティプロジェクトチーム事務局

14地区の先進的なスマートシティプロジェクトの支援を決定 ～令和4年度スマートシティ実装化支援事業の選定～

先進的技術や官民データを活用し、まちの課題を解決し、新たな価値を創出するため、都市活動や都市インフラの管理及び活用を高度化する「スマートシティ」の実装に向けて、令和元年度から各地区のスマートシティに関する取り組みを支援してきました。

この度、内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省が連携し、合同公募・審査を行い、先進的な都市サービスの実装化に向けて取り組む14地区の実証事業の支援を決定しました。

●令和4年度スマートシティ実装化支援事業 支援地区 14地区（別紙1）

【支援地区の例】

- ・自宅から病院での受付・受診・会計までの一体でシームレスなサービス導入を目指す、病院バスでの顔認証と病院受付との連動、院内での受付無しでの受診、後払い会計の実証等を行い、患者負担を最小化するモデルケースを検証。【茨城県つくば市】
- ・スマートロボティクス技術による業務支援・代替の実現等を目的とし、複数ロボットへの導入時の技術面・運用面の課題解決に向けた、ロボットのインシデント対応システムの検討及び対応体制の構築等を行う。【東京都大田区】

●令和4年度スマートシティに関するハンズオン支援地区 4地区（別紙2）

コンソーシアムの検討に対する助言や情報提供等の支援。

【参考】（内閣府プレスリリース）令和4年度のスマートシティ関連事業の選定結果
<https://www.cao.go.jp/cstp/stmain/20220713smarctcity.html>

【問い合わせ先】

国土交通省 スマートシティプロジェクトチーム事務局^{※1}
大崎、武内（内線 32672、32674）

Tel: 03-5253-8111 直通: 03-5253-8411 Fax: 03-5253-1590
E-mail: hqt-smarctcity-milit_atmark_gxb.mlit.go.jp^{※2}

^{※1} Tel、Fax は国土交通省都市局都市計画課に異なります。

^{※2} 「atmark」を「@」に置き換えて送信ください。

R4支援地区（14地区）

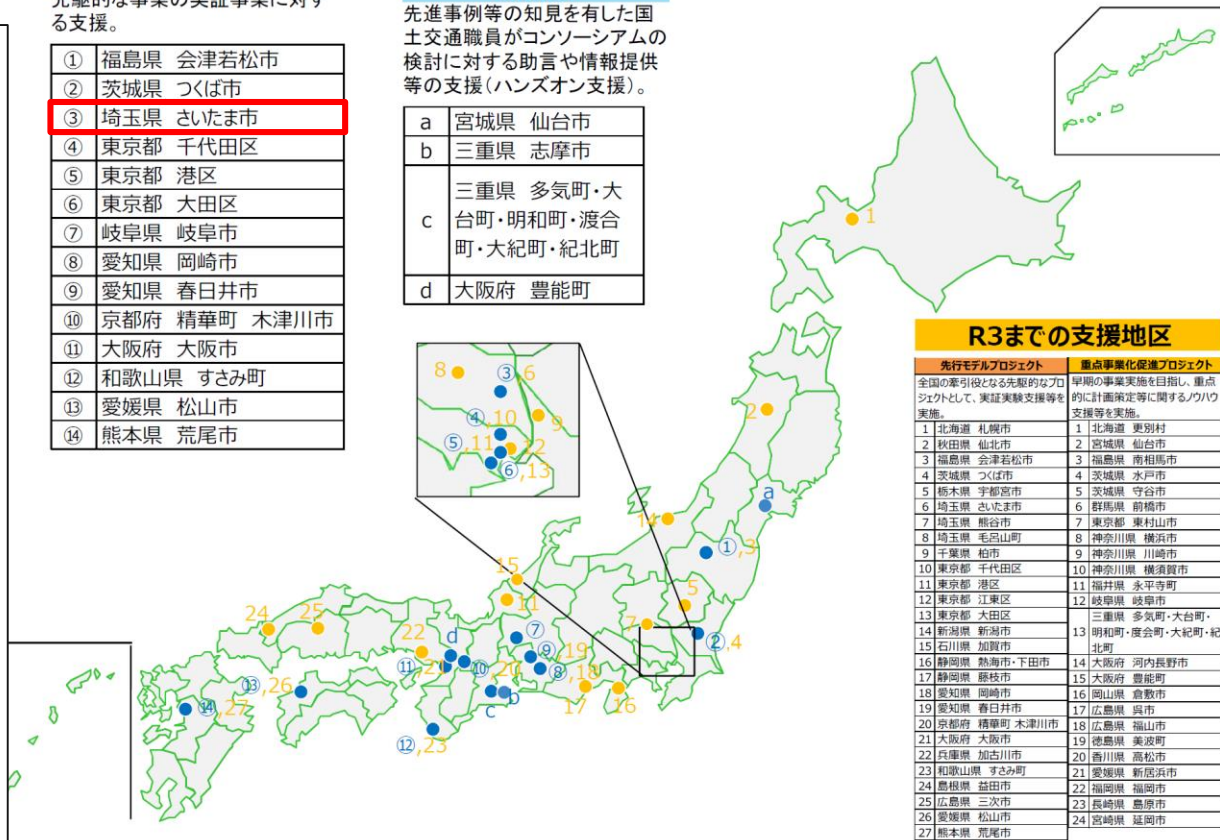
先駆的な事業の実証事業に対する支援。

①	福島県 会津若松市
②	茨城県 つくば市
③	埼玉県 さいたま市
④	東京都 千代田区
⑤	東京都 港区
⑥	東京都 大田区
⑦	岐阜県 岐阜市
⑧	愛知県 岡崎市
⑨	愛知県 春日井市
⑩	京都府 精華町 木津川市
⑪	大阪府 大阪市
⑫	和歌山県 すさみ町
⑬	愛媛県 松山市
⑭	熊本県 荒尾市

R4ハンズオン支援地区（4地区）

先進事例等の知見を有した国土交通職員がコンソーシアムの検討に対する助言や情報提供等の支援（ハンズオン支援）。

a	宮城県 仙台市
b	三重県 志摩市
c	三重県 多気町・大台町・明和町・渡合町・大紀町・紀北町
d	大阪府 豊能町



R3までの支援地区

先行モデルプロジェクト	重点事業化促進プロジェクト
全国の牽引役となる先駆的なプロジェクトとして、実証実験支援等を実施。	早期の事業実施を目指し、重点的に計画策定等に関するノウハウの支援等を実施。
1 北海道 札幌市	1 北海道 更別村
2 秋田県 仙北市	2 宮城県 仙台市
3 福島県 会津若松市	3 福島県 南相馬市
4 茨城県 つくば市	4 茨城県 水戸市
5 栃木県 宇都宮市	5 茨城県 守谷市
6 埼玉県 さいたま市	6 群馬県 前橋市
7 埼玉県 熊谷市	7 東京都 東村山市
8 埼玉県 毛呂山町	8 神奈川県 横浜市
9 千葉県 柏市	9 神奈川県 川崎市
10 東京都 千代田区	10 神奈川県 横浜市中区
11 東京都 港区	11 福井県 永平寺町
12 東京都 江東区	12 岐阜県 岐阜市
13 東京都 大田区	13 三重県 多気町・大台町・明和町・渡合町・大紀町・紀北町
14 新潟県 新潟市	14 大阪府 河内長野市
15 石川県 加賀市	15 大阪府 豊能町
16 静岡県 熱海市・下田市	16 岡山県 倉敷市
17 静岡県 藤枝市	17 広島県 呉市
18 愛知県 岡崎市	18 広島県 福山市
19 愛知県 春日井市	19 徳島県 美波町
20 京都府 精華町 木津川市	20 香川県 高松市
21 大阪府 大阪市	21 愛媛県 新居市
22 兵庫県 加古川市	22 福岡県 福岡市
23 和歌山県 すさみ町	23 福岡県 福岡市
24 鳥取県 益田市	23 長崎県 島原市
25 広島県 三次市	24 宮崎県 延岡市
26 愛媛県 松山市	
27 熊本県 荒尾市	

■ 事業のセールスポイント

駅を核とした**スマート・ターミナル・シティ**を目指し、AI・IoT等のスマート化技術や官民データの活用により、地域課題・ニーズにきめ細かく対応しながら、①健康で環境にやさしい**脱クルマ依存型生活行動**を支え、**地域回遊性を高めるモビリティサービスを充実**させるとともに、②モビリティと**地域経済活動が連携したライフサポート型MaaS**を構築・実装し、③**3D都市モデル**も活用した**スマートプランニング**の高度化・実践により**ウォーカブルな都市空間・環境**の形成を促進する。

■ 位置図



■ 本事業全体の概要

○ スマートシティで解決したい都市インフラ関連の課題

市全域	中心市街地 (先行モデル：大宮駅・さいたま新都心駅周辺)	郊外住宅地 (先行モデル：美園地区)
①幹線道路の慢性的な交通渋滞の解消 ②コロナ禍・Postコロナにおけるライフスタイル・価値観の変化に合わせた移動手段の充実とモード間連携・地域連携による公共交通の利便性向上・地域活性化 ③自家用車から徒歩・自転車・公共交通への行動変容促進 ④駅周辺におけるウォーカブルな都市環境の形成	⑤鉄道駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消 ⑥東日本の玄関口としての交流拠点形成 ⑦大宮－さいたま新都心間の回遊性向上 ⑧商都大宮をはじめとするまちのにぎわい再生	⑨生活拠点施設へのアクセス改善 （自家用車に依存した生活行動の解消） ⑩交通弱者の外出機会の創出 （新型コロナウイルス感染症に伴い外出機会が一層減少）

○ 課題解決の方向性

駅を核とした「スマート・ターミナル・シティ」

さいたま市のスマートシティのコンセプト「市民のウェルビーイングな暮らしを実現するスマートシティさいたま」の構築に向け、駅を核としたウォーカブルでだれもが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境を形成



○ 実施する施策

施策① 健康で環境にやさしい脱クルマ依存型生活行動を支え、地域回遊性を高める〈モビリティサービスの充実〉

－シェア型マルチモビリティの導入 －AIオンデマンド交通の導入

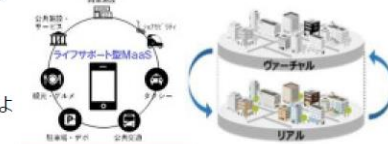


施策② モビリティと地域経済活動が連携した〈ライフサポート型MaaSの構築〉

－モビリティを軸にしながら、買い物等のサービス・データを連携・統合

施策③ スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成

－ライフサポート型MaaSから得られるデータ等を活用したスマート・プランニングにより施設配置や空間整備等、最適な空間計画を実現



■ 対象区域の概要

- 名称：さいたま市
- 面積：約217.4km²
- 人口：約133万人

■ 対象区域のビジョン

○ 上質な生活都市

全ての人がしがあわせを実感し、
自らが暮らすまちに誇りを感じ
ることができる都市

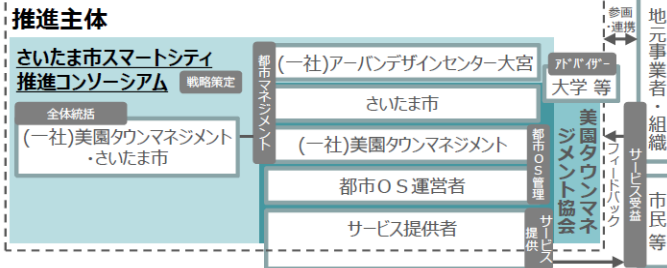
○ 東日本の中枢都市

市民や企業から選ばれ、訪れる人を惹きつける魅力にあふれる都市

■ スマートシティの目標(KPI)

KPI	現況値	目標値
まちなかの滞留人口・時間	－（取組の中で計測）	－（取組の中で計測）
交通利便性への満足度	57.8％（R2）	64.0％（R7）
自動車分担率(市全体)	26.8％（H30）	現況からの減
グリーンポイント発行数	0ポイント	－（取組の中で計測）
店舗売上	－（取組の中で計測）	－（取組の中で計測）
身体活動量	－（取組の中で計測）	－（取組の中で計測）

■ 運営体制



■導入技術

施策① モビリティサービスの充実

- シェア型マルチモビリティ** (中心市街地型モデルで先行実施)
 - －主に在住者、在勤者の移動の利便性向上や都市の回遊性、環境負荷の軽減などを両立する新たな都市交通システムとして、複数モビリティのシェアリングサービスを展開。
- AIオンデマンド交通** (郊外住宅地型モデルで先行実施)
 - －既存交通を補完し、多様な地域ニーズに柔軟に応えながら(脱クルマ依存型生活行動)を支える移動手段として、AIがリアルタイムで最適な配車を行うオンデマンド交通サービスの新規導入



施策② ライフサポート型MaaSの構築

- モード間連携
- ー路線バスなどの既存の公共交通とシェア型マルチモビリティ等新たなモビリティサービスとの連携(MaaS、ポート配置、配車等)による移動の総量の増加・更なる利便性の向上。
- ー鉄道事業者とシェア型マルチモビリティとのアプリ連携も想定。



施策③ スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成

- ## ○スマートプランニング高度化
- －歩行者の移動量、滞留量とさいたま市3D都市モデルデータを活用した日影の投影範囲分析の重畳による**快適な移動空間、滞留空間評価モデルの構築・実証。デジタルツインによる都市基盤整備。**
 - －市民ニーズの収集・分析・施策反映のスマートな仕組み作り(プランニングプロセスの高度化)。



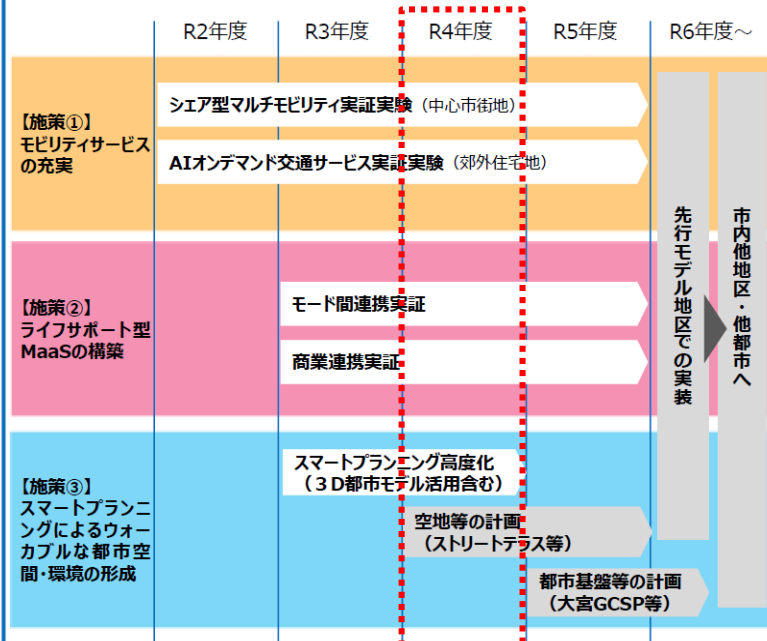
■ビジネスモデル

- ・ 施策①「モビリティサービスの充実」、施策②「ライフサポート型MaaSの構築」と、施策①、②から得られるデータを活用した施策③「スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成」のサイクルを継続して実践することを目指す。
- ・ また、「美園タウンマネジメント協会」にて都市OS「共通プラットフォームさいたま版」の開発・実証が進められており、本実行計画においても同基盤と各種サービスのAPI連携を含めたデータ連携について検討していく。
- ・ さらに、市内先行モデル地区である「大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区」、「美園地区」では、アーバンデザインセンターを拠点に各地区特性に応じた地域プレイヤー参画・連携によるまちづくり事業スキーム構築が試行されており、持続可能な地域経営を実現していくために市民や企業を巻き込む体制・仕組みづくりを推進。スマートシティ推進の基盤としていく。

施策	持続可能な取組とするための方針
【施策①】 モビリティサービスの充実	各種モビリティから得られる移動データ等の活用や、市民ニーズの的確な反映等によるポート配置等サービス設計の最適化、また、地域の受益者との協働により、効率的で持続可能なサービス運営を実践していく。
【施策②】 ライフサポート型MaaSの構築	各種モビリティ事業者や地域事業者等がメリットを受け得るようなMaaSの仕組みを構築していく。
【施策③】 スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成	施策①、②において継続的にデータを取得できる（民間事業者の中でクローズされない）運営体制を構築するとともに、それらを含めた各種データや3D都市モデル等を活用したスマートプランニング手法の高度化を図り、デジタルツインにより都市基盤（実空間）をウォーカブルな環境としていく。

■スケジュール

- ・ スマートシティ先導モデル都市となるべく、地域のニーズを把握し、きめ細かなに対応ながら、社会実装と横展開を意識した取組を推進。
- ・ 中心市街地型として大宮駅周辺・さいたま新都心駅周辺地区、郊外住宅地型として美園地区の2地区をさいたま市内のスマートシティ先行モデル地区とし、各種実証実験と検証を実施。得られた成果を市内他地区や他都市へ展開していく。
- ・ 施策①モビリティサービスの充実、施策②ライフサポート型MaaSの構築については、市内先行モデル地区においてR6年度の社会実装を目指す。また、官民データ（施策①、②から得られるデータ含む）や3D都市モデルを活用しながら、スマートプランニングを高度化し、その実践によりウォーカブルな都市空間・環境の形成を推進する（施策③）。



■将来イメージ



※「大宮GCSプラン2020」のまちの将来像イメージより作成

駅を核としたウォーカブルで誰もが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境(スマート・ターミナル・シティ)の形成に向け、生活利便性向上・まちの賑わい形成を支えるマルチモーダル・インターモーダルな移動環境・交通サービス体系づくりを軸に、3D都市モデルや各種サービスデータの統合・分析による施策効果の可視化等を通じて、多様な地域プレイヤーを巻き込んだ産官学民連携によるモビリティサービス普及、都市空間・環境整備に向けた合意形成等を推進する。

KPI (目標)

	現況値	目標値
まちなかの滞留人口・時間	(取組の中で計測)	(取組の中で計測)
交通利便性への満足度	57.8% (R2)	64.0% (R7)
自動車分担率(市全体)	26.8% (H30)	現況からの減
グリーンポイント発行量	0ポイント	(取組の中で計測)

実行計画

駅を核とした「スマート・ターミナル・シティ」



「市民のウェルビーイングな暮らしを実現するスマートシティさいたま」の実現に向け、駅を核としたウォーカブルで誰もが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境を構築。

施策①「モビリティサービスの充実」により、健康で環境にやさしい脱クルマ依存型生活行動を支え、地域回遊性を高めるとともに、

施策②モビリティと地域経済活動が連携した「ライフサポート型MaaSの構築」を進め、

施策③各種サービスデータや都市データを活用した「スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成」を促進する。

【先行モデル地区】

- **中心市街地型モデル** (高密度エリア・商業業務地ゾーン)
→ **大宮駅・さいたま新都心駅周辺地区**
 - **郊外住宅地型モデル** (中高密度エリア・住宅地ゾーン)
→ **美園地区**
- 先行モデル地区での実践・成果を市内他地区等へ横展開

体制

スマートシティ施策をエリア・分野の拡張のフェーズへ進めるにあたり、さいたま市スマートシティ推進コンソーシアムが

推進主体として統括・マネジメントし、各種プレイヤーの参画・連携を促進。

推進主体

さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム

(全体統括)

(一社)美園タウンマネジメント・さいたま市

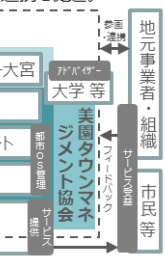
(一社)アーバンデザインセンター大宮

さいたま市

(一社)美園タウンマネジメント

都市OS運営者

サービス提供者



実証内容

過年度実証成果等も踏まえつつ、施策①～③に関するR4実証1～3を展開。

【R4実証1】AIオンデマンド交通サービスの地域共創民間実装モデルの構築 (郊外住宅地型モデル)

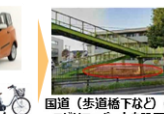
- AIオンデマンド交通サービスの実装モデル構築に向け、地域ポイントを活用したダイナミックプライシング、まちに還元されるインセンティブの獲得を目標にした脱炭素貢献可視化による交通行動変容の促進等を試行・検証。



地域ポイント(アプリ)を活用した利用促進

【R4実証2】シェア型マルチモビリティと既存公共交通の連携ポートの実証 (中心市街地型モデル)

- 国道と連携したモビリティポートの設置により、シェアサイクルと路線バスの乗り継ぎを促すとともに、効果検証からバス需要と連携したポート配置を検討。



国道(歩道橋下なり)にモビリティポートを設置

【R4実証3】スマートターミナルシティの実現に向けたスマートプランニング実施 (中心市街地型モデル)

- バス等の滞留状況の解析から、時間帯でバス数等を変動させる「スマート駅前広場」のプランニングに活用。
- 建物形状等を反映した3D都市モデルを用いた環境評価から、ウォーカブル空間形成施策へ活用。



駅前広場のバス・その他車両の滞留状況を解析

スケジュール

市内先行モデル地区で実証・実装。市内他地区・他都市へ展開。

施策	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度～
①モビリティサービスの充実		シェア型マルチモビリティ実証実験(中心市街地)	AIオンデマンド交通サービス実証実験(郊外住宅地)		
②ライフサポート型MaaSの構築		モード間連携実証	地域経済連携実証		
③スマートプランニングによるウォーカブルな都市空間・環境の形成			スマートプランニング高度化(3D都市モデル活用含む)		
			空間・都市基盤等の計画		

先行モデル地区での実証

市内他地区・他都市へ



さいたま市美園地区における AIオンデマンド交通サービス実証事業 「みそのREDタクシー」の概要

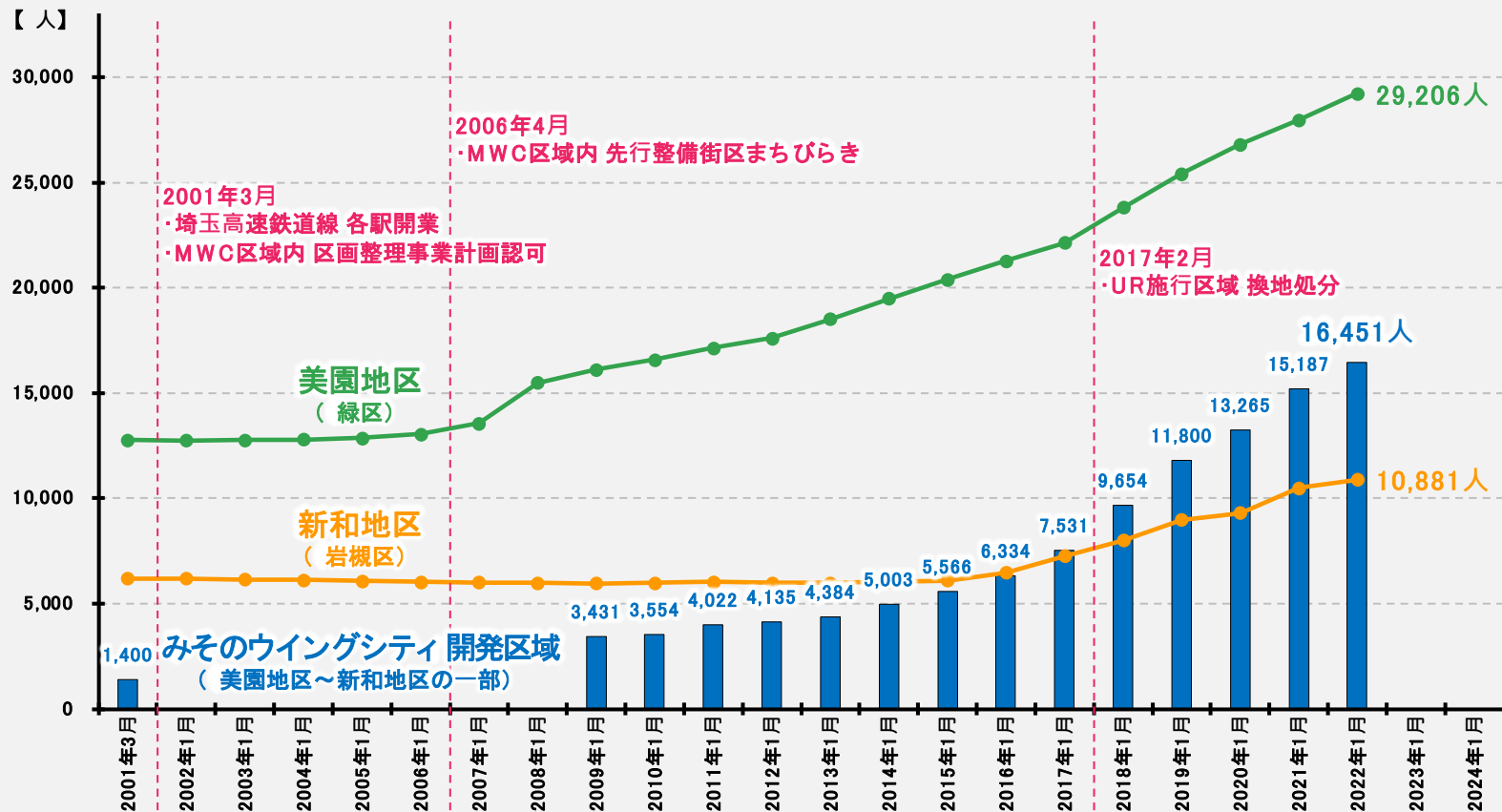


さいたま市美園地区の概況

2022年6月撮影



みそのウイングシティ区域の人口動態（2001年3月～）

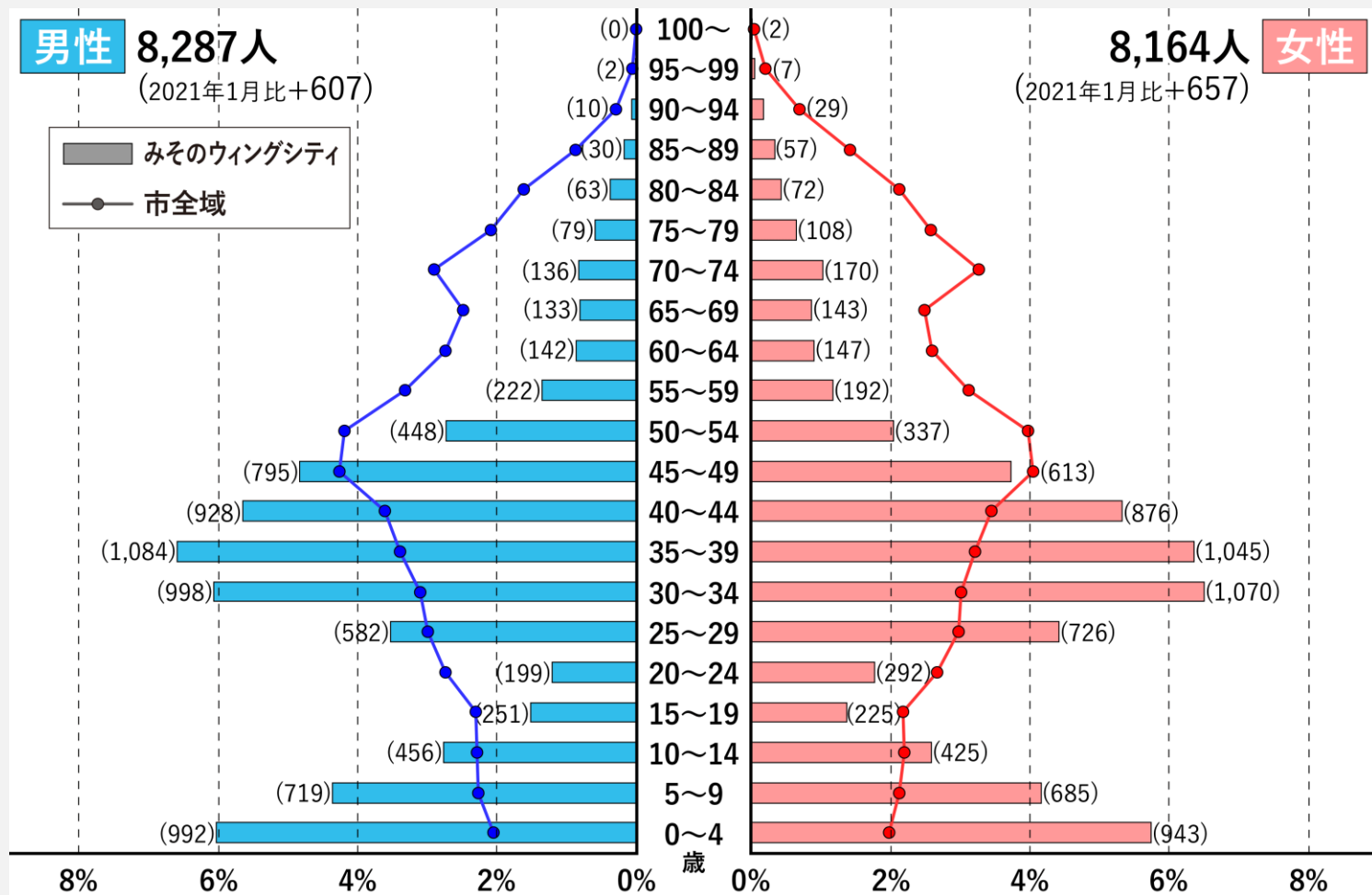


【美園地区】 大字大崎、大字上野田、大字北原、大字玄蕃新田、大字下野田、大字大門、大字代山、大字高畑、大字寺山、大字中野田、大字南部領辻、東大門1～3丁目、大字間宮、美園1～6丁目

【新和地区】 大字尾ヶ崎、大字尾ヶ崎新田、大字釣上、大字釣上新田、大字末田、大字高曽根、大字野孫、美園東1～3丁目

※さいたま市「人口・世帯」データおよびさいたま市浦和東部まちづくり事務所作成人口データを基に(一社)美園タウンマネジメント作図

みそのウイングシティ区域内の人口構成（2022年1月）



AIオンデマンド交通サービス実証の取組背景・経緯

現状地域課題

【地域全体傾向】 交通手段が限られ、自家用車依存度高（自家用車分担率H30:美園地区48%＞全市27%）
 【都市開発区域】 子育て世代を中心とした居住人口や立地施設数が増加中
 【既成市街地・市街化調整区域】 今後、現役世代の減少や高齢化の進行の見込み
 まちの発展・成熟に伴う人口・土地利用等の変化や、ライフスタイル・ニーズの多様化に対応しながら、過度な自家用車依存から脱却し、誰もが移動しやすい域内交通体系をどう実現？

仮説

駅や商業施設等の都市機能が点在し、都市開発に伴うまちの変化も著しい本地区では、乗降場所・運行車両等の柔軟なサービス設計が可能なオンデマンド交通サービスが有用!?

年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度
取組	第1期実証運行 ・地域受容性検証 等  運行期間 2021/3/29～4/25	第2期実証運行 ・サービス精度向上 ・収支モデル試案 等  運行期間 2021/12/13～2022/2/13	第3期実証運行 ・サービス精度向上 ・収支モデル検証 等	実装準備等 ・サービス精度向上 ・協賛等拡大 ・各種手続き、調整 等	サービス実装【目標】	
備考	※国土交通省都市局R1補正予算「スマートシティモデルプロジェクト」	※国土交通省都市局R3当初予算「スマートシティモデルプロジェクト」	※国土交通省都市局R4当初予算「スマートシティ実装化支援事業」 ※国土交通省総政局R3補正予算「共創モデル実証プロジェクト」			

第2期実証(2021年12月～2022年2月)の概要

実施体制

主催	さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム（美園地区プロジェクトチーム）		
車両運行	(株)つばめタクシー（埼玉県乗用自動車協会会員）		
システム	【オンデマンド予約管理】 MONET Technologies(株)		【オンラインチケット(個人認証)アプリ】 PaylessGate(株)
事務局	(一社)美園タウンマネジメント、さいたま市浦和東部まちづくり事務所、KPMGコンサルティング(株)		

実施概要

実 証 名	AIオンデマンド交通サービス実証事業「みそのREDタクシー」～ Ride it, for Everyday life, on Demand ～		
運行期間	2021年12月13日㊦～12月28日㊧、2022年1月6日㊨～2月13日㊩ 平日37日／休日(土・日・祝)18日：計55日	運行範囲	浦和美園駅周辺： みそのウイングシティ(MWC)区域を中心とした地域
運行時間	平日 7:00～21:00／土曜・祝日 9:00～21:00／日曜 9:00～18:00	乗降場所	～1月10日：39箇所 ／ 1月11日～：42箇所 ※次頁図参照
車 両	運転手除く6人乗り×平日1台・休日2台 ※感染症対策のため乗車定員4人/台にて運行		
運 賃	1回乗車	12月13日～12月28日	大人(中学生以上) 100円 ／ 子ども(小学生) 無料
		1月 6日～ 2月13日	大人(中学生以上) 300円 ／ 子ども(小学生) 150円 ※未就学児：大人1人につき1人まで無料(2人目以降は子ども料金を適用)
	定額料金	1月 6日～ 2月13日	・30日間乗り放題券：大人2,000円 ／ 子ども1000円 ・15日間乗り放題券：大人1,200円 ／ 子ども600円 ・おやこ1日周遊券：400円 ※大人1人につき子ども(未就学児含む)2人まで同乗可
予約方法	乗車予約アプリ「MONET」もしくは専用電話にて、会員登録の後、乗降場所・乗車時刻・乗車人数を指定して予約 ※10分後～翌日の乗車予約可能		
支払方法	・1回乗車：乗車時に現金支払い ・定額券：チケットアプリ「SmartWallet」（電子チケット）もしくはUDCMi窓口（紙チケット）での事前購入のみ ※利用1週間前より購入可		

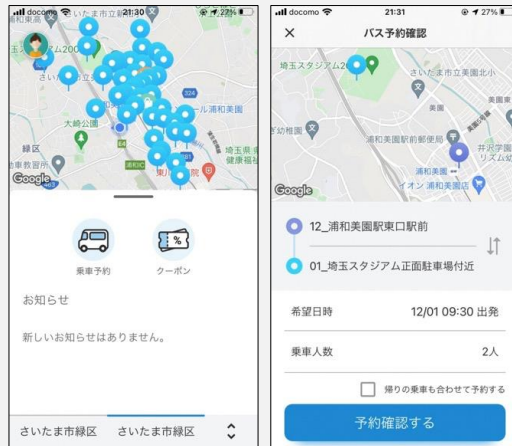
第2期実証(2021年12月～2022年2月)の概要



▲図. 乗降場所一覧 (2022年1月11日以降)



▲みそのREDタクシー運行車両



▲乗車予約アプリ「MONET」

第2期実証(2021年12月~2022年2月)の概要



ICTサービス不得手層フォロー

- ※スマホ教室でのサービス紹介
- ※個別相談会も計4回実施



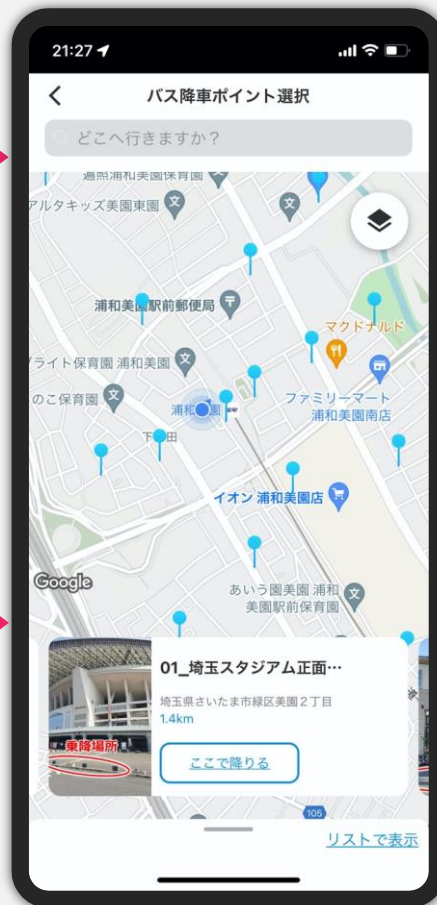
▲車載端末アプリ



▲ユーザーアプリ

ハンズフリー認証の試験導入

- ※Bluetooth通信を用いた個人認証に対応したチケットアプリ「SmartWallet」で定額券等販売



乗車予約アプリ「MONET」



乗車インセンティブ設計

- ※1日1回を上限に50ポイント付与



交通モード間連携

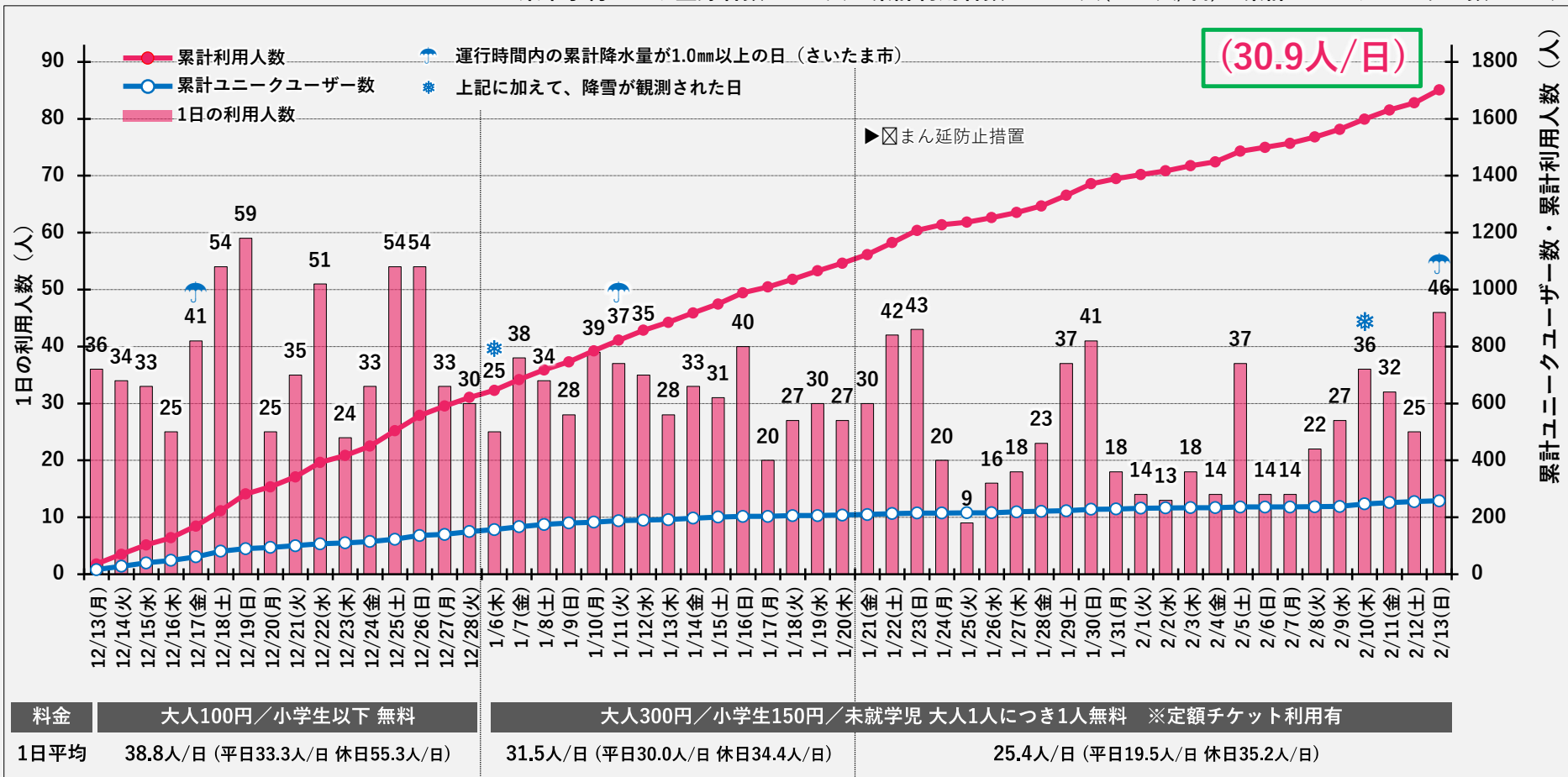
- ※アプリ間での情報発信連携



誘客・送客連携

第2期実証(2021年12月～2022年2月)の概要

乗車予約アプリ登録者数：622人 累計利用者数：1702人(30.9人/日) 累計ユニークユーザー数：258人



「第2期実証運行」を踏まえた実装課題 および「第3期実証運行」の狙い

第2期実証を経ての実装課題

・より一層利用シーンに合わせたサービス設計による利用者増加・稼働率向上、収支改善が必要。

- ➡ アンケート・利用実績だけでは見えない潜在ニーズに合わせたサービスを検討する上で、**人流等各種データ**も組み合わせた行動分析によるサービス精度向上が必要。
(一体の生活圈をなす隣接市との連携や、埼玉サッカー開催日等の対応検討含む)
- ➡ **予約成立条件・相乗り成立条件等の調整・改善**による稼働率向上。

・運賃収入だけに頼らない、**地域（受益者）で支える持続可能なファイナンスモデルの試行**が必要。

- ➡ 少額から参加できる**多様な協賛メニュー**の検討や営業活動推進。
- ➡ 金銭的クーポンの発行だけでなく、情報の発信方法や予約等の連携など、**目的地側との連携施策**の検討。

・ウォーカブルで環境負荷の少ないまちづくりに向け、**自家用車を代替するレベルのサービス利便性の向上**が必要。

- ➡ 路線バス等基幹交通やシェアサイクル等との連携による地域交通一体型での、定額料金の導入など**横断的なサービスの設計**。
- ➡ 金銭的価値で還元する「グリーンポイント」等の**環境貢献インセンティブ付与**や、**環境貢献をまち全体へ還元し可視化**できる仕組みづくり等の付加価値の設計。

・市民の間で定着させるためには、移動自体の利便性向上とともに、**サービス利用時のUXの向上**が必要。

- ➡ 現状、様々な事業者が提供するアプリをそれぞれ利用する運用となっており、データの連携・接続による**複数アプリ併用の解消**。
- ➡ 管理者視点で、**横断的なデータ分析**を効率的に実施するために、**都市OS**を介して各アプリの個人IDを紐づける仕組みづくり。

第3期実証の狙いと施策

① サービス精度向上

- ・ 人流データ等解析による乗降場所配置検証
- ・ 料金プラン見直し など

SC事業

共創モデル事業

② 予約(相乗り)成立条件の精度向上

- ・ 予約成立条件に関する各種パラメータ等の調整

SC事業

③ 稼働率向上に向けたダイナミックプライシング導入

- ・ 予約繁閑に応じてポイント付与変動するダイナミックプライシング的還元施策による空き時間帯解消

SC事業

④ 地域共創モデルの構築

- ・ 地域事業者等との連携による企画チケット等の開発・試行・検証
- ・ 相応の受益／負担に応じた多様な協賛メニューの開発・試行・検証

共創モデル事業

⑤ 環境貢献意欲への訴求

- ・ 地域貢献意欲に訴求したインセンティブ施策の企画・試行・検証

SC事業

○ 交通モード間連携・アプリ連携については、システム課題への対応等含め、次年度以降の実施に向けた協議を継続。

⑥ 横断的なデータ分析

- ・ 各種データを統合分析するデータ連携基盤：都市OS（共通プラットフォームさいたま版）の活用方策の実施調整

SC事業

さいたま市における シェアモビリティの取組について

A person is riding a bicycle on a brick-paved path. The background is blurred, showing trees and a fence. The image has a warm, golden-hour lighting. The text is overlaid on the left side of the image.

当社について

モビリティサービスの充実

ライフサポート型MaaSの構築

当社について





会社名 : OpenStreet株式会社 株主構成

所在地 : 東京都港区

代表者 : 工藤 智彰

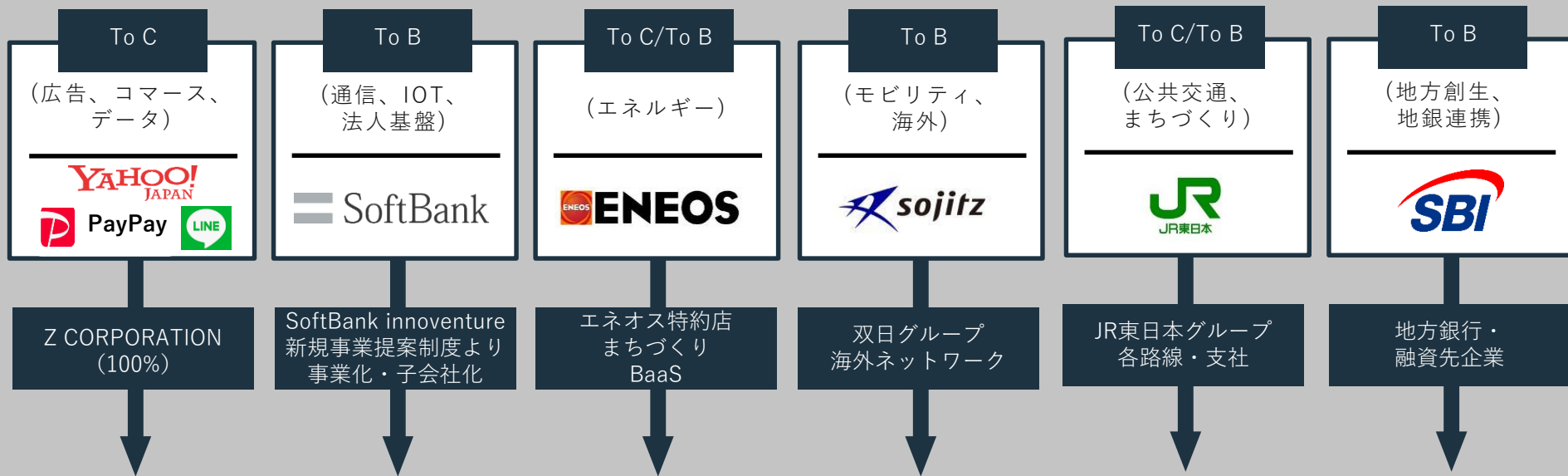
設立 : 2016年11月

従業員数 : 80名 ※22年6月1日時点

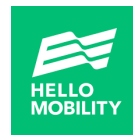
- ・ 経営陣
- ・ ソフトバンク株式会社
- ・ Zコーポレーション株式会社（ZHD100%子会社）
- ・ SBIインベストメント株式会社
- ・ ENEOSホールディングス株式会社
- ・ 双日株式会社
- ・ 東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）

※ファンド経由の間接投資含む

株主との事業シナジー



モビリティシェアリング
プラットフォーム



シェアモビリティ事業

マルチモビリティシェアリング
プラットフォームの運営



HELLO CYCLING

シェアサイクルプラットフォーム



HELLO MOBILITY

スクーター・小型EVシェア



駐車スペースシェア

スマートシティ/
ゼロ・カーボンシティ
自治体との連携によるまちづくり領域



2016年
～

国内No.1シェアサイクリン
拠点数4,800箇所以上

2019年
～

スクーター・小型EV車
マルチモビリティシェア



確実&簡単な
スマート・パーキング

2020年
～

パーキングシェア
パーク&ライドの実
現

新たな交通インフラサービスとして人々の生活を豊かに



2016年11月に5ステーションよりサービススタート。

アプリより手軽にシェアサイクルが利用できるサービスです。



2021.5
業界初 スポーツタイプE-bike
KUROAD 実証実験開始

2021.2
ステーション数 4,600

2021.10
累計 会員数 100 万人突破！

2016.11
サービススタート
ステーション数 5

この3年間で
利用回数数 3 倍

2019年よりサービススタート。

自転車のみならず、様々なモビリティをアプリよりシェアできます。



2019年
～

HONDA

Gyro canopy

低燃費スクーター



2020年
～

FOMM

FOMM one

小型EV自動車



2021年
～

TOYOTA

C+pod

小型EV自動車

免許を要する
モビリティの
シェア

多様な車種をアプリからシェアできる仕組みを開発しています

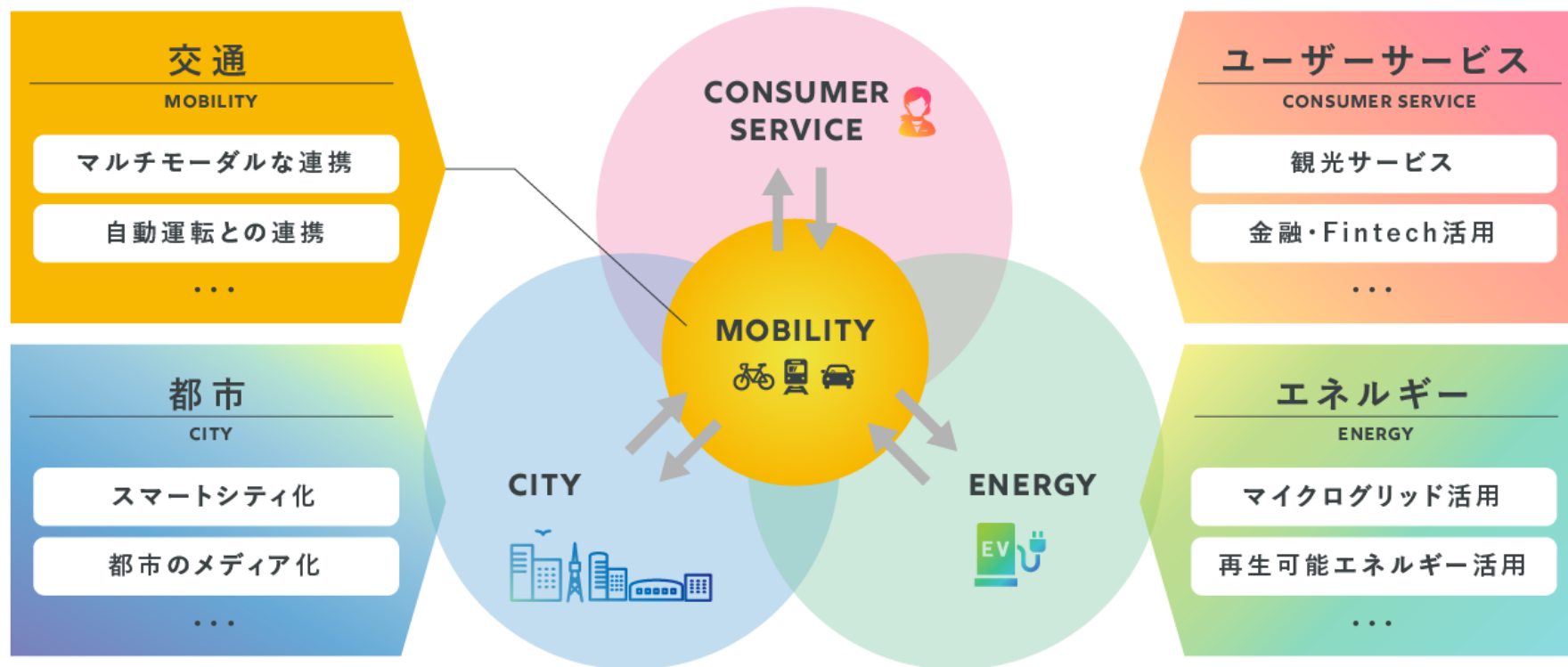


街の
ファーストマイル
ラストマイル
をつなぐ

街と郊外をつなぐ



Mobilityサービスの交通インフラを軸とし、事業領域を拡大



マルチモビリティステーションのアップデート

マイクロモビリティ

自転車



スクーター



小型EV



インフラ・その他



5 G
アンテナ
5 G/WiFi



チャージャー
Sta.
エネルギー供給

次世代エネルギー

再生可能エネルギー発電
蓄電システム



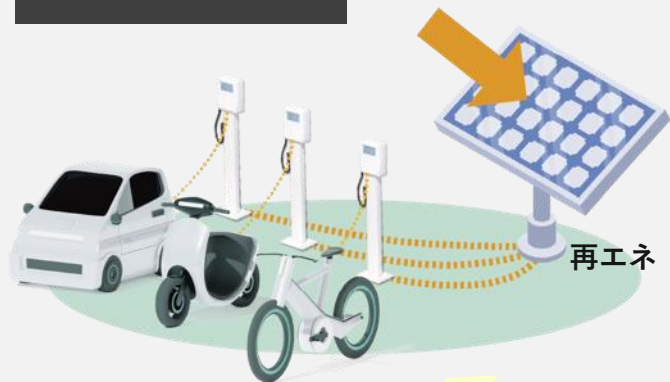
バッテリーBOX
エネルギー供給

A photograph of a person riding a bicycle on a brick-paved path. The background is blurred, showing trees and a fence. The image has a warm, golden-hour lighting. There are several vertical bars of different colors (red, grey, blue) overlaid on the image.

モビリティサービスの充実

モビリティシェアの行政領域活用

エコ



移動



スマート

市区町村

施策実施

移動データ

レジリエンス



移動

まちなか



移動

さいたま市様とのお取り組み状況

2018年より 新たな都市の交通システム構築を検証

2018年11月

シェアサイクル実証実験



公用地・民有地にステーションを配置
シェアサイクルの普及促進・データ活用

2019年8月

シェアスクーター実証実験



中長距離移動の快適性向上など
さらなる移動の利便性向上に向けた検証

2020年12月

シェア型マルチモビリティ実証実験



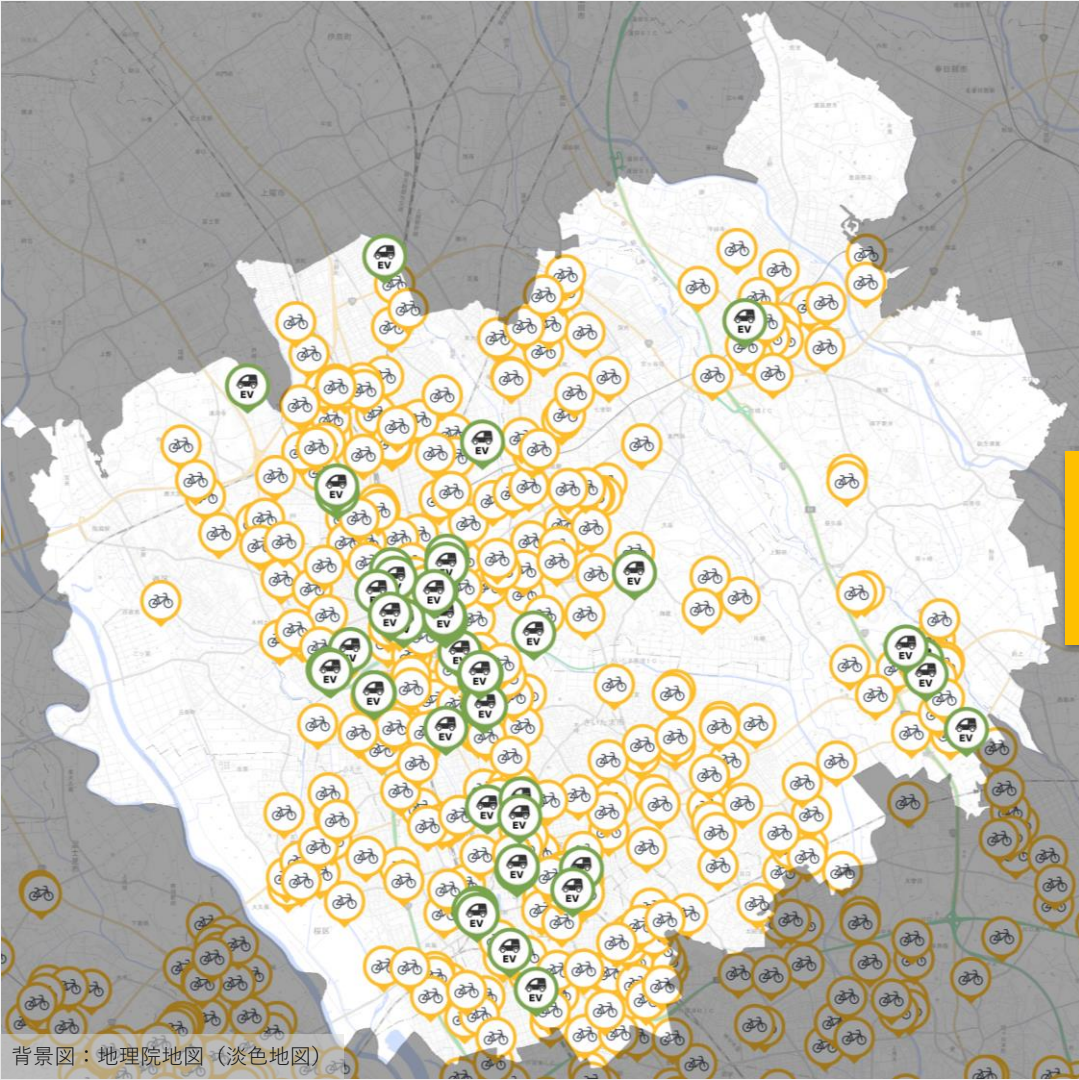
市内各所にマルチモビリティを配備し、
交通利便性向上・環境負荷の軽減等を検証

2022年3月

包括連携協定



まちづくり、環境保全、災害対策、
経済振興など多岐にわたる分野で連携



市内に377箇所
3,217ラック



ステーション数・ラック数は2022年8月末時点

背景図：地理院地図（淡色地図）

公用地・民間用地の連携により高い利便性を実現

中心市街地



住宅地



官

公園緑地



官

駅前

民



官

公開空地

民



マンション

民

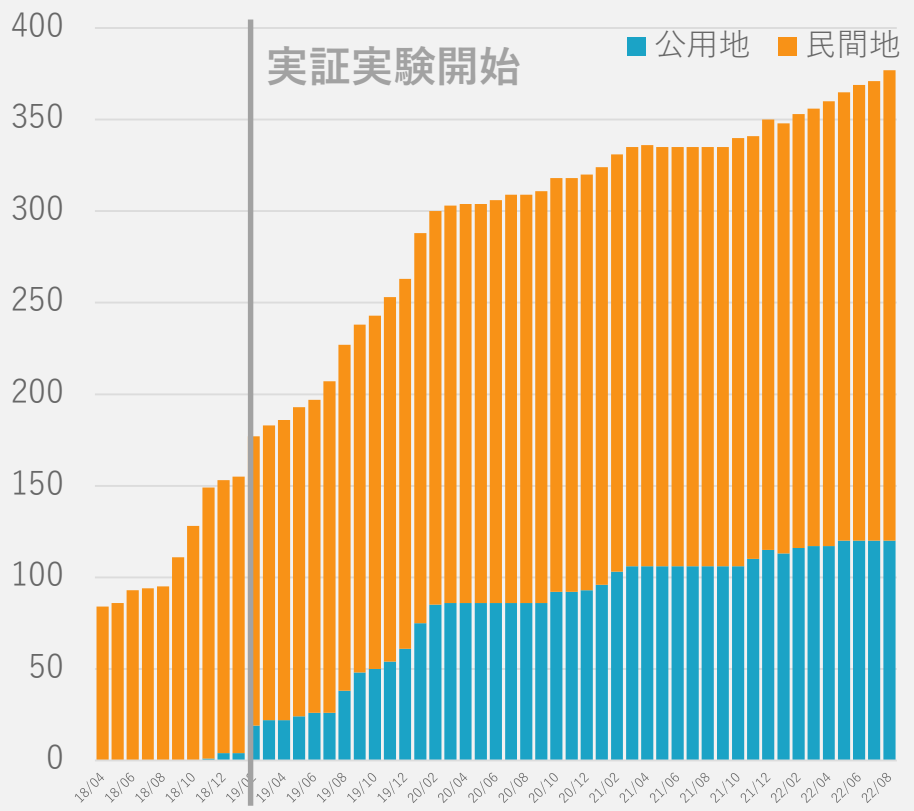


コンビニ

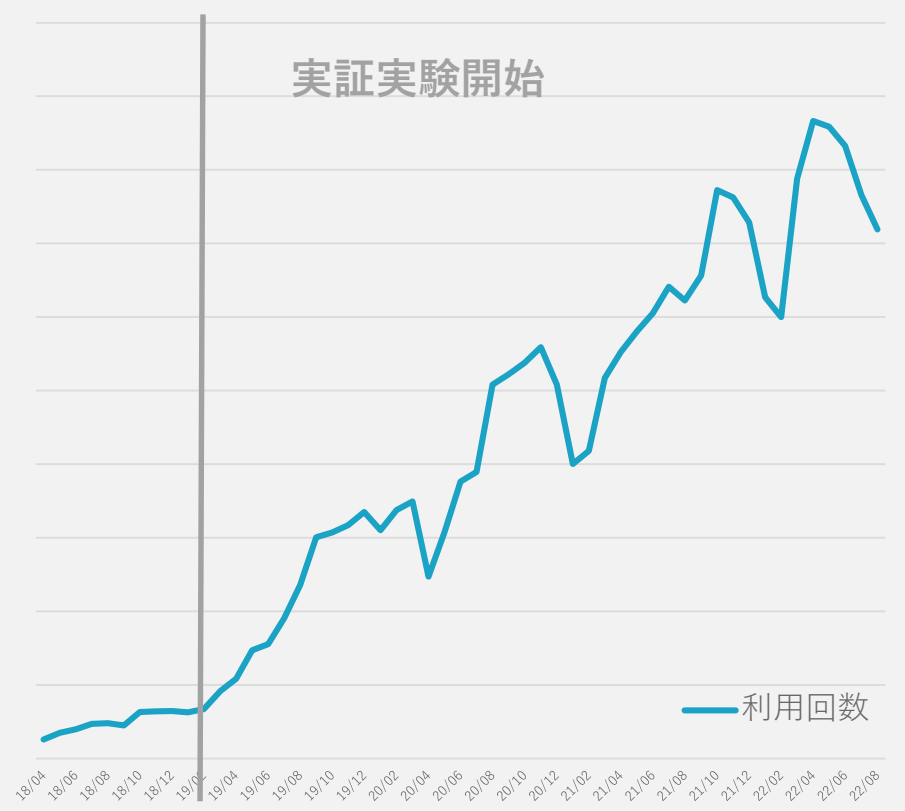
民

官民連携によるインフラ整備

ステーション数



利用回数

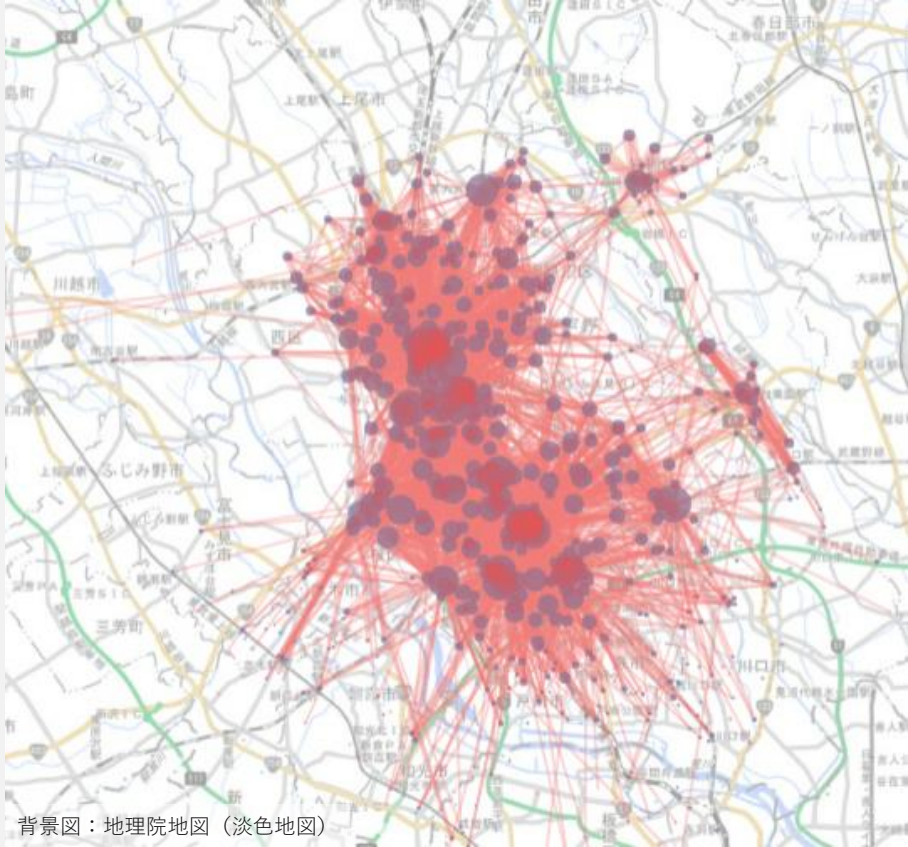


交通ネットワークとしての発展

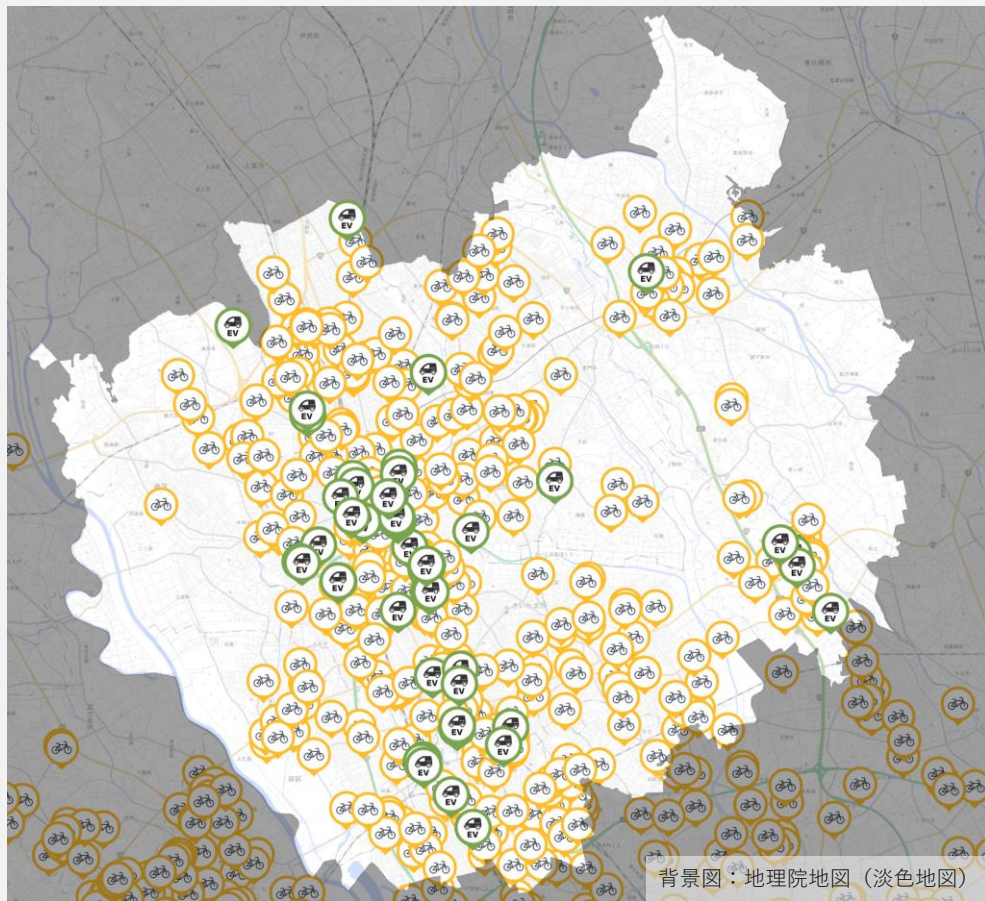
2018年4月



2022年8月



シェア型マルチモビリティ実証



新規ステーションの開拓

既存ステーションの
マルチ&エネルギーステーション化



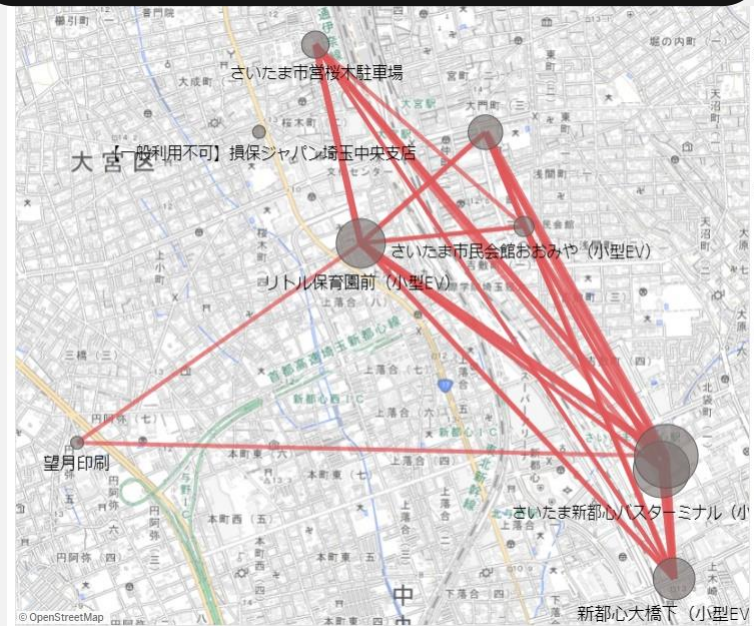
マルチモビリティポートの拡充

住宅地・生活圏に拡充し、需要の見極めとデータ蓄積を加速

新設したマルチモビリティポート

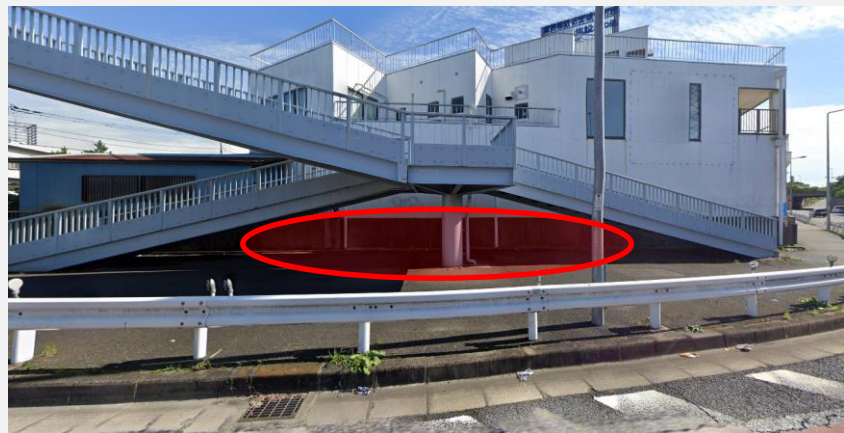
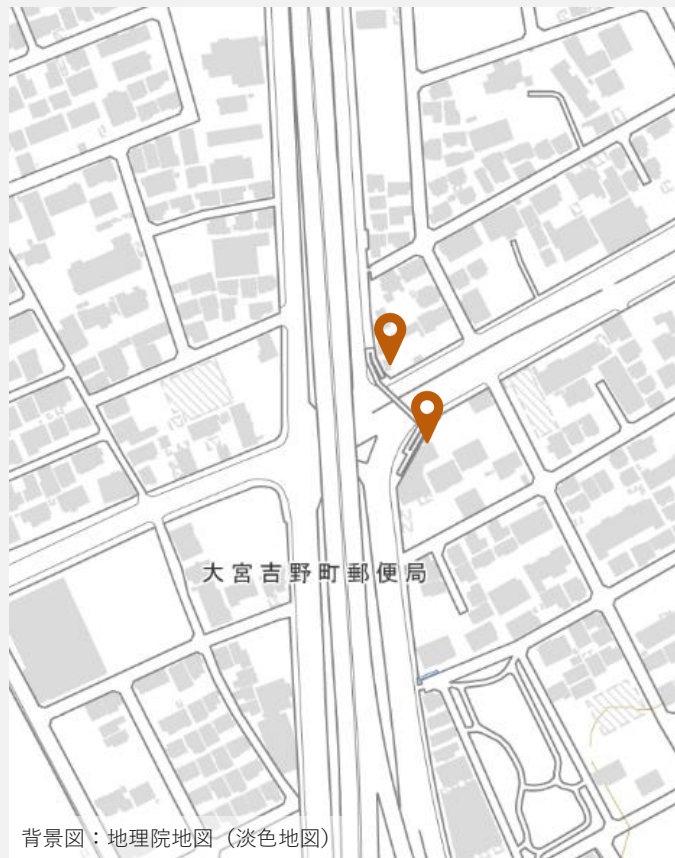


超小型EVのODデータ

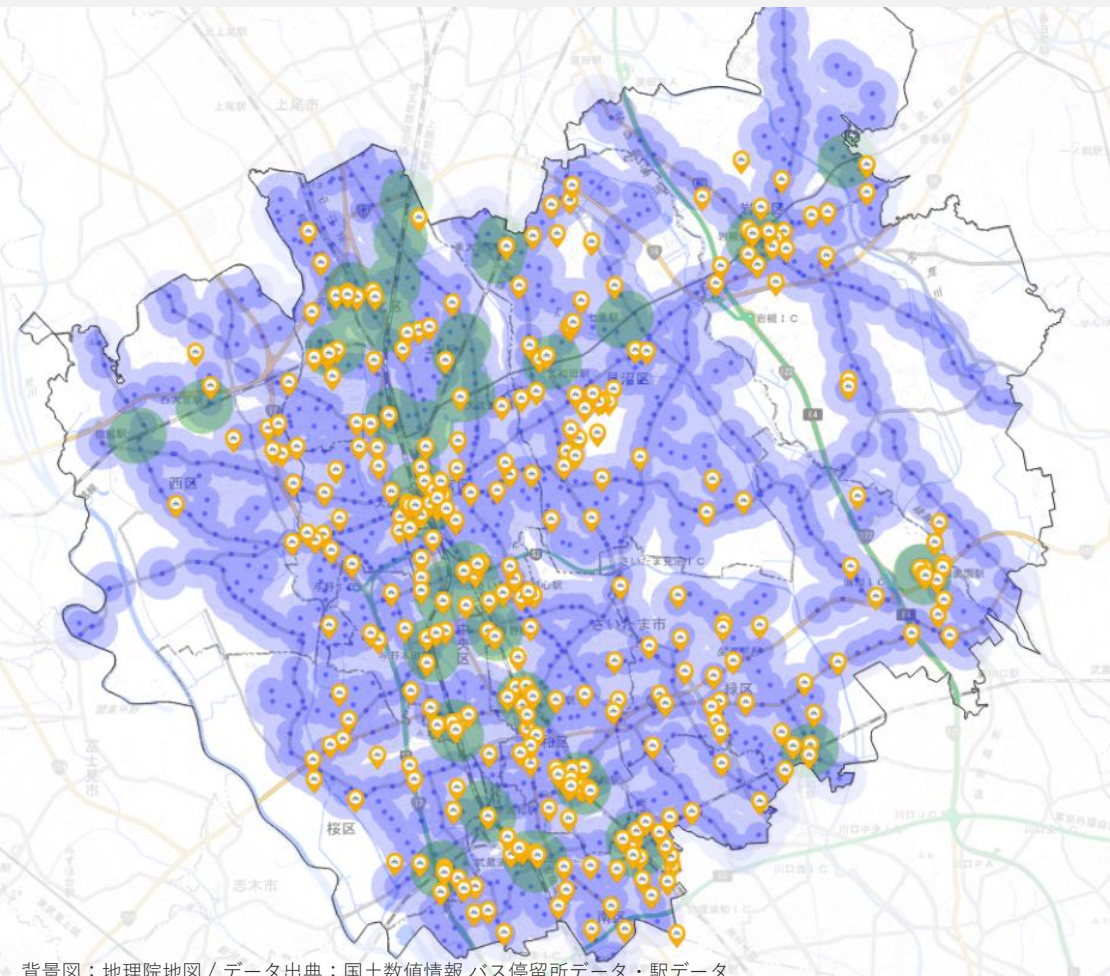




国道空間へのステーション設置



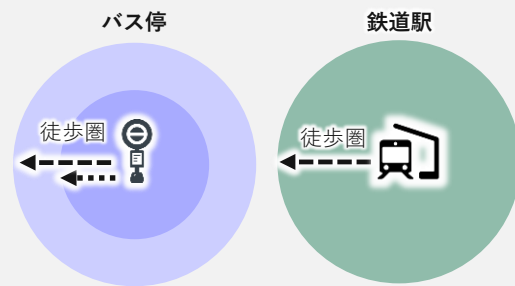
都市交通の“補完”としてのシェアモビリティ



交通空白地の補完として

市内の既存公共交通機関（鉄道・バス）の
徒歩圏を分析・図化

ステーション設置に反映



rights reserved.

シェアモビリティの脱炭素化





BaaS・バッテリーマネジメントの実証実験



バッテリーステーション×シェアによる
EVバイクの普及促進

CO2削減効果の可視化

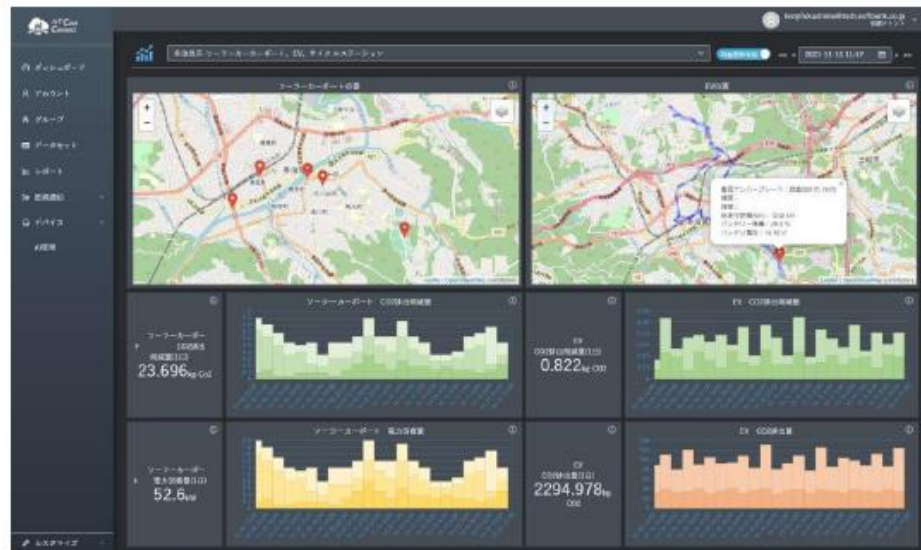
各再生エネルギーステーションのグリーン電力の発電量・蓄電量のデータ

各シェアEVのバッテリー残量・走行履歴（速度・電費・車速）・急ブレーキ/急発進/急ハンドルなどのデータ

各シェアモビリティの稼働率（利用数・累積利用時間・走行距離）などのデータ

多治見エリアではグリーンマルチモビリティシェア商用化し

一元的データを集約し各データから算出した「CO2排出量/CO2削減量」を可視化



シェアサイクルバッテリーの災害活用

災害時の役割

Sta : エネルギーステーション
Mobility : 小回りの利く蓄電池

平常時の役割

Sta : 交通拠点
Mobility : 脱炭素型モビリティ



災害を見据えた蓄電・給電インフラ構築

- ・モビリティステーション
エネルギー供給拠点化
- ・シェアモビリティからの給電

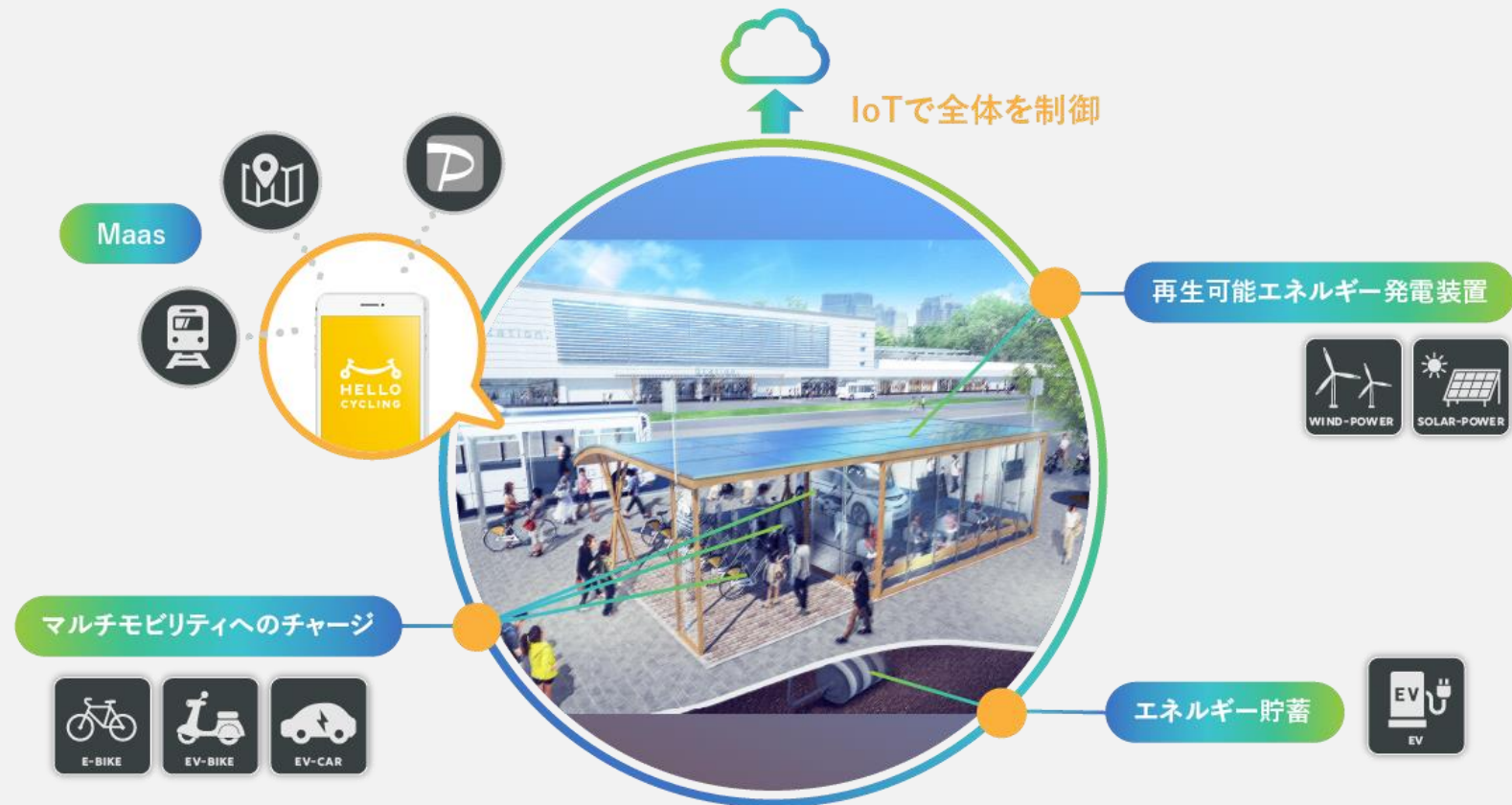


日常移動における移動の脱炭素化

- ・環境負荷の少ない交通体系の構築
- ・脱炭素型モビリティの導入



マルチモビリティプラットフォーム+再生可能エネルギー



マイクロモビリティの多様化とEV化

あらゆるモビリティのSOC・SOH情報

E-bike, EVscooter



Panasonic
電動アシスト自転車



HONDA
ベンリイe

多様化したモビリティ



2

小型・多様化した
バッテリーBOX



脱炭素マルチモビリティ



4

VPP
電力システム
蓄電池
アップサイクル
バッテリー再利用



1

E-bike, EVscooterの
バッテリーBOX



PanasonicバッテリーBOX

HONDAバッテリーBOX

3

再生エネルギー発電を利用した
マルチモビリティ
チャージステーション



A person is riding a bicycle on a brick-paved path. The background is blurred, showing trees and a fence. The image has a warm, golden-hour lighting. The text "ライフサポート型MaaSの構築" is overlaid in the center.

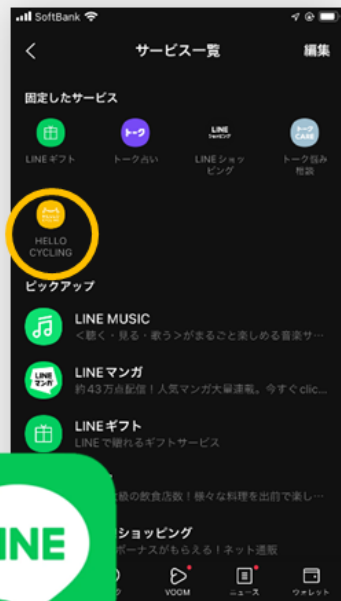
ライフサポート型MaaSの構築

快適な移動環境の実現へ



利用者の生活に密着したスーパーアプリとの連携

登録ハードルの緩和・利便性をスーパーアプリで実現



LINE ミニアプリ

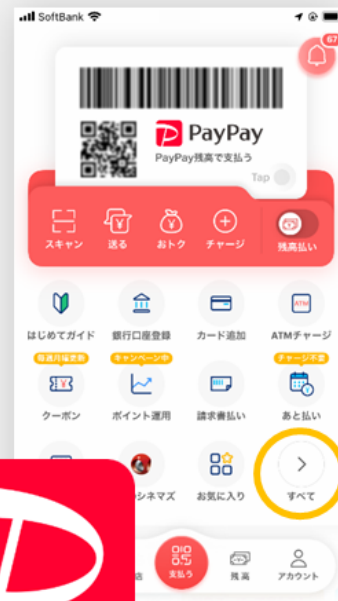
2022.2リリース済

エリア順次拡大予定

Step3は今後アップデートで対応

LINEアプリ利用者

9,982万人※
2021年度



PayPay ミニアプリ

2022.夏リリース予定

Step3は今後アップデートで対応

PayPayアプリ利用者

6,230万人※
2021年度

※ 2022.5.23 日本経済新聞朝刊掲載記事より（ヴァリュース調べ）

JR東日本のRingoPassと連携。

RingoPassに登録して



Suicaをかざせば



レンタル開始！



Suica登録者は指定回数無料、等のサブスクプランも実装可能

【鉄道連携】 RingoPassからのシェアサイクル利用

JR東日本が提供するMaaSアプリ「RingoPass」にて
HELLO CYCLINGを利用可能に



HELLO CYCLING 連携スタート!

Ringo Passアプリ1つで
HELLO CYCLINGとドコモ・バイクシェアが
どちらも使えるようになりました。



HELLO CYCLING初乗り無料キャンペーン開催!



Ringo Passからの
ご利用で初乗り料金が

月5回まで無料!!

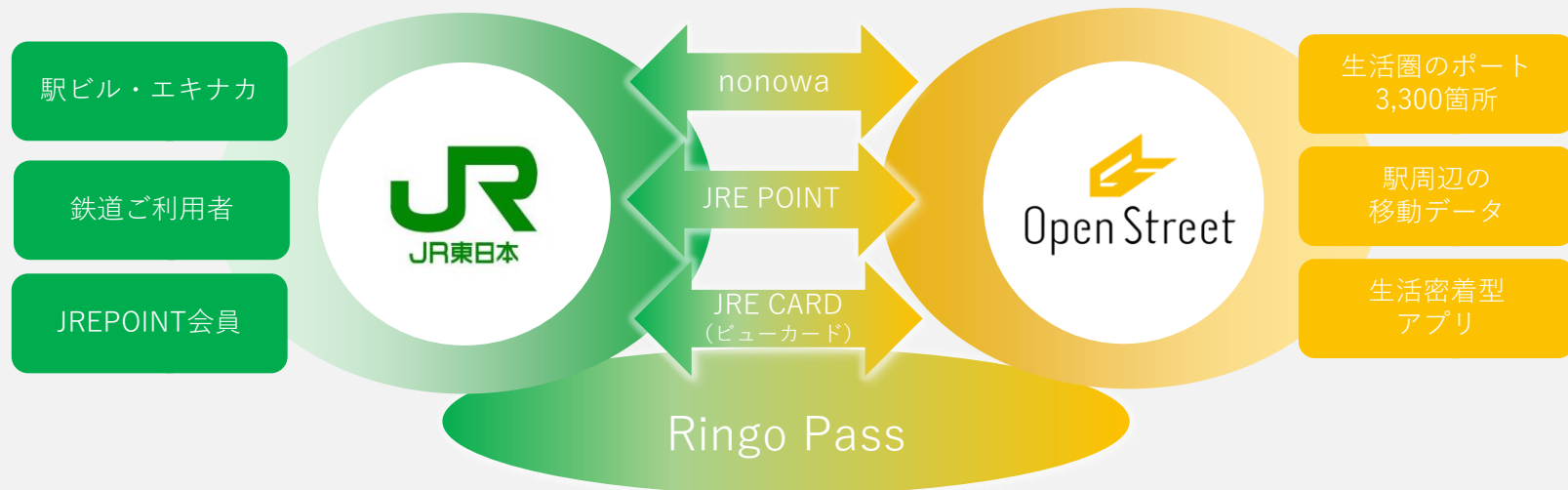
※初乗り料金・時間はエリアによって異なります。

キャンペーン期間 → 2022.4.1(金)~5.31(火)

【鉄道連携】 交通～商業まで広く連携を検討

交通結節点＝まちの中心

シェアモビリティ＝まちの周辺



JR 東日本と OpenStreet の強みを掛け合わせ、
駅と地域間の移動機能を拡充



Ringo Pass

【バス連携】情報連携実証の実施

HELLO CYCLINGアプリ上にバス停情報を表示 バス・シェアサイクルの組合せ利用を促進



概要

シェアサイクルとバスを使おう！

今なら路線バスのバス停情報がMAP上に表示されます。シェアサイクルとバスを上手に活用して、効率よく移動しましょう。

実証内容

本表示は、さいたま市と実施している実証実験の一環として、公共交通とシェアサイクルを組み合わせた生活行動を促進する目的で実施しています。

表示対象：さいたま市内に所在する西武バスバス停留所
表示期間：2022年3月〇〇日～2023年3月31日

データについて

本アプリケーションが利用する公共交通データは、公共交通オープンデータセンターにおいて提供されるものです。公共交通事業者により提供されたデータを元にしていますが、必ずしも正確・完全なものとは限りません。本アプリケーションの表示内容について、公共交通事業者への直接の問い合わせは行わないでください。

バス停データ最終更新日時：2022年〇月〇〇日

公共交通オープンデータセンターより

バス停情報を取得予定



Copyright © OpenStreet CORP. all rights reserved.

【データ連携】ステーションデータのオープンデータ化

 公共交通オープンデータセンター
Public Transportation Open Data Center

データセット 組織 グループ About 検索

ホーム / 組織 / OpenStreet (ハローサイクリング) / OpenStreet / OpenStreet (ハローサイクリング) ...

OpenStreet (ハローサイクリング) バイクシェア関連情報 (GBFS形式) / Bikeshare information (GBFS format) of OpenStreet

組織



OpenStreet (ハローサイクリング) / OpenStreet

ライセンス

CC BY 4.0, ODC BY 1.0, ODbL 1.0

データセット

OpenStreet (ハローサイクリング) バイクシェア関連情報 (GBFS形式) / Bikeshare information (GBFS format) of OpenStreet

OpenStreet株式会社 の運営する HELLOCYCLING のシェアサイクルデータを [GBFS 形式](#) で公開します。対象エリアは日本全国です。

※本コンテンツ等は [CC BY 4.0](#), [ODC BY 1.0](#), [ODbL 1.0](#) の下でライセンスされています。クレジット表示については、[こちら](#) のFAQをご参照ください。 / This content, etc. is licensed under [CC BY 4.0](#), [ODC BY 1.0](#), [ODbL 1.0](#). Please refer to [this FAQ](#) for crediting this content, etc.

クレジット表示に関する情報:

- コンテンツ等の提供署名: OpenStreet株式会社 / 公共交通オープンデータ協議会

Information for crediting this content, etc.:

- Provider name of content, etc.: OpenStreet Corp. / Association for Open Data of Public Transportation

データとリソース

 バイクシェア関連情報(GBFS形式) / Bikeshare information...
OpenStreet (ハローサイクリング) のバイクシェア関連情報(GBFS形式)を提供します。 / Bikeshare information (GBFS...

 バイクシェア関連情報(GBFS形式 / station_information) /...
OpenStreet (ハローサイクリング) のバイクシェア関連情報(GBFS形式 / station_information)を提供します。 /...

 バイクシェア関連情報(GBFS形式 / system_information) /...
OpenStreet (ハローサイクリング) のバイクシェア関連情報(GBFS形式 / system_information)を提供します。 /...

 バイクシェア関連情報(GBFS形式 / station_status) /...
OpenStreet (ハローサイクリング) のバイクシェア関連情報(GBFS形式 / station_status)を提供します。 / Bikeshare...

 バイクシェア関連情報(GBFS形式 / vehicle_types) / Bikeshare...
OpenStreet (ハローサイクリング) のバイクシェア関連情報(GBFS形式 / vehicle_types)を提供します。 / Bikeshare...

バイクシェア-bikeshare

バイクシェア関連情報_gbfs形式-b...

公共交通オープン
データセンターにて
2022年6月28日
リリース

Confidential

Copyright © OpenStreet CORP. all rights reserved.

内容

- ・ **ステーション情報（全国）**
名称、住所、緯度経度、ラック数等
- ・ **停車している自転車の情報**
台数、電動アシスト有無等
- ・ **サービス基本情報**
名称、アプリURL、ロゴガイドライン等



シェアモビリティデータの国際規格GBFS対応
(General Bikeshare Feed Specification)

停車台数などは約5分に1回更新

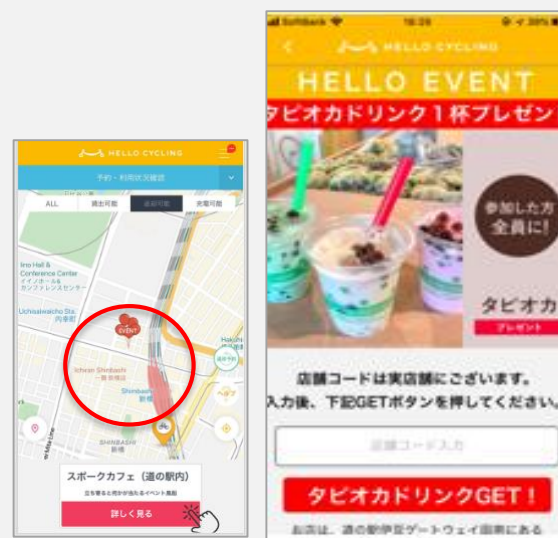
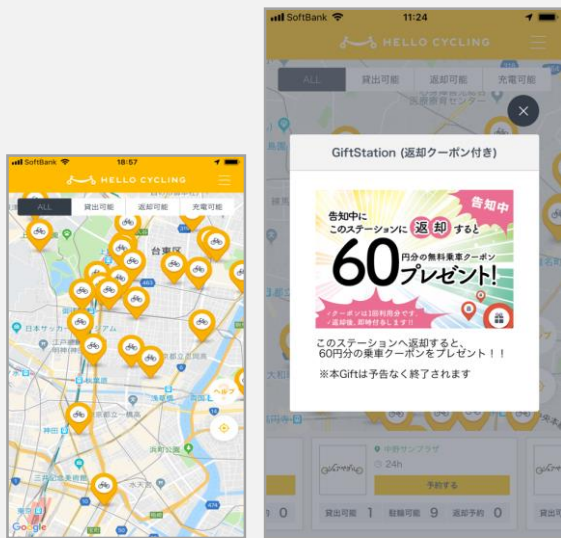
【商業連携】 まちなかの情報発信ツールとして

まちなかを回遊する人にピンポイントでアプローチ

ステーションポップアップ

ステーションバナー

イベントピン



【商業連携】連携施策

集客施策 with まるまるひがしにほん

ましまるひかりにのりこさん
東日本鉄道にのりこさん

10月31日(日) ▶ 31(日)

20万人突破!

祝

来館者数200万人突破キャンペーン

東日本
20名様に3,000円相当の
お食事券プレゼント!

東日本各地の秋の味覚、楽観!
オンラインストア
限定商品販売

The screenshot shows the '配信条件' (Distribution Conditions) page in the 'メルマガエディタ' (Email Editor) interface. The page is divided into several sections:

- 配信方法** (Distribution Method): A section with tabs for '配信方法' (Distribution Method), '配信日時' (Distribution Date/Time), '配信先' (Distribution Target), '配信内容' (Distribution Content), and '配信状況' (Distribution Status). The '配信方法' tab is selected.
- 配信方法** (Distribution Method): A section with a dropdown menu for '配信方法' (Distribution Method) and a button for '配信方法' (Distribution Method).
- 配信日時' (Distribution Date/Time): A section with a dropdown menu for '配信日時' (Distribution Date/Time) and a button for '配信日時' (Distribution Date/Time).**
- 配信先' (Distribution Target): A section with a dropdown menu for '配信先' (Distribution Target) and a button for '配信先' (Distribution Target).**
- 配信内容' (Distribution Content): A section with a dropdown menu for '配信内容' (Distribution Content) and a button for '配信内容' (Distribution Content).**
- 配信状況' (Distribution Status): A section with a dropdown menu for '配信状況' (Distribution Status) and a button for '配信状況' (Distribution Status).**

The table below shows the distribution methods and their respective dates and times:

配信方法	配信日時	配信先	配信内容	配信状況
メール	2014/12/12	2014/12/12	2014/12/12	2014/12/12
SMS	2014/12/12	2014/12/12	2014/12/12	2014/12/12
Web	2014/12/12	2014/12/12	2014/12/12	2014/12/12

デリバリー連携 with foodpanda

こんにちは！
埼玉の皆さん
foodpandaです。

カンタン注文で
出来立ての美味しさを
爆速でお届け！

テイクアウト注文も
今なら**20% OFF**

foodpanda

HELLO
CYCLING

どこでも借りれる
自転車シェア
500円OFF

クーポンコード **saitama_hp**

注文方法

WEBまたはアプリから注文

お料理を選択

お会計時にクーポンコード入力をお忘れなく

あとは待つのみ！おいしいお食事を堪能あれ！

利用規約
 本キャンペーンは2021年11月15日
 合計2800クーポンコード（約1500円相当）/600円（2枚目）/500円（3枚目）
 1番目と2枚目または2枚目と3枚目の間で1枚あたり500円は、
 2枚目以降のクーポンは、初めての注文完了後、
 7日間以内の方向転換のクーポンにのみ適用されます。
 foodpandaのアプリによりキャンペーンを閲覧、注文、お支払することがあります。
 全てのクーポンは販売・使用できます。
 本キャンペーンの詳しいfoodpandaアプリ上でご確認ください。

Delivery Hero Japan 株式会社
 〒106-6133 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ西館3-3階
 お問い合わせ: support@foodpanda.jp.jp

おわりに



持続可能な
モビリティ
インフラ



人



三密を避けた移動
移動そのものが体験

健康＋便利

事業



持続性のある
交通インフラ

収益性の確立

社会



自転車＋EVシフト
カーボンオフセット

低炭素社会



**HELLO
CYCLING**



Open Street

オープン ストリート

見慣れた街の、知らない世界へ